



令和7年度児童生徒・教員のタブレット端末の 活用状況に関する実態調査の結果報告について

令和8年4月

調査概要

1.調査目的

タブレット端末の「学校での活用」「家庭での活用」に加え、「情報モラル意識」等について尋ねることで活用状況を把握し、今後の活用推進に生かすため。

2.調査設計

(1) 調査方法・対象：

	①小学校低学年	②小学校中高学年	③中学生	④教員(小学校)	⑤教員(中学校)
調査対象	小学校1～2年生	小学校3～6年生	中学校1～3年生	小学校で授業を担当している教員	中学校で授業を担当している教員
調査方法	・Microsoftフォームでアンケートを5種類作成 ・タブレット端末にアイコンを配信				
回答結果	9,085人(70.8%) ※R6 8,181人(63.4%)	18,449人(68.9%) ※R6 16,982人(62.8%)	13,818人(70.6%) ※R6 12,773人(65.2%)	1,573人(60.7%) ※R6 1,292人(60.6%)	923人(64.1%) ※R6 737人(61.0%)

(2) 期間：令和7年（2025年）12月15日（月）～令和8年（2026年）1月9日（金）

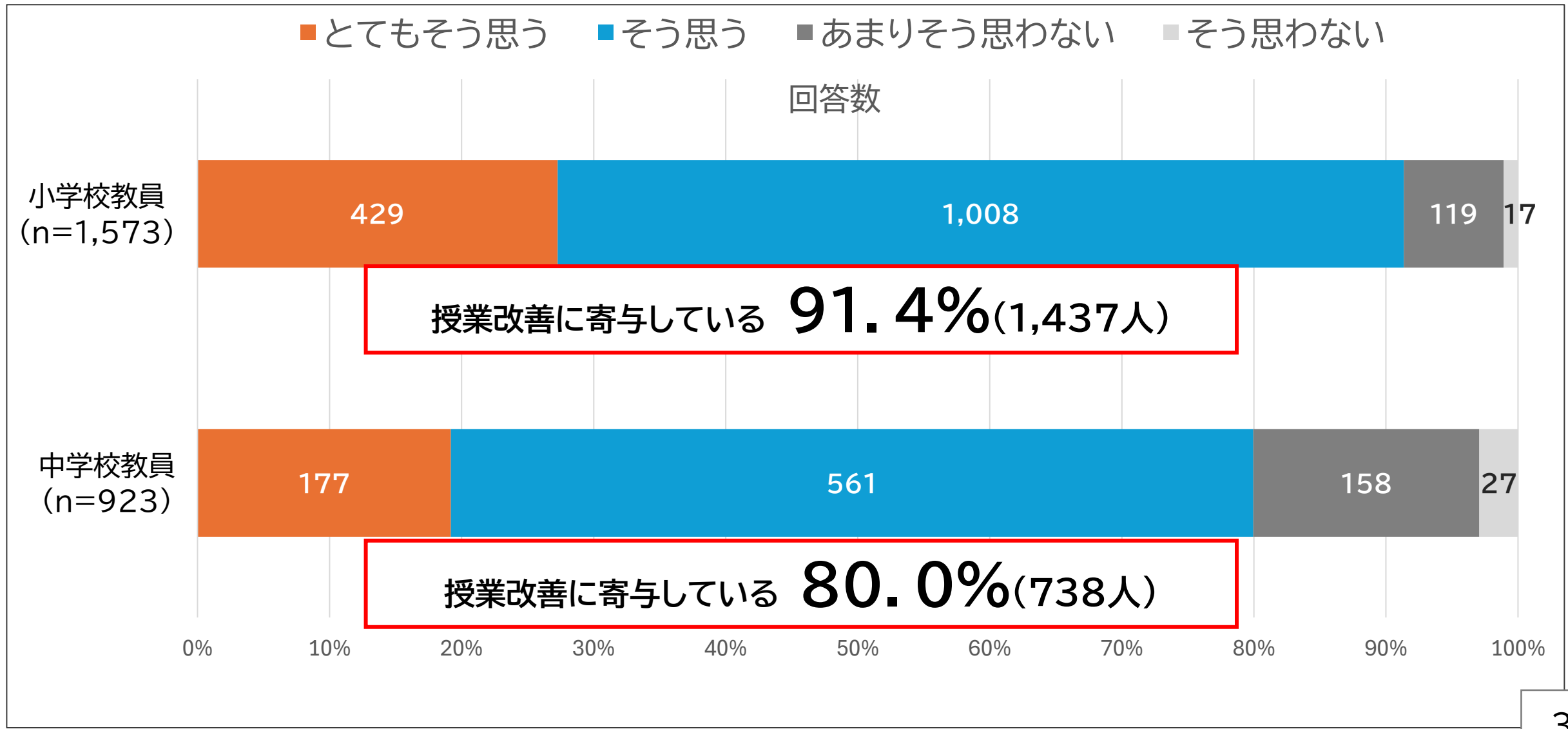
3.備考

- ・新タブレット端末になって初めてのアンケート。
- ・タブレット端末導入のメリットだけでなく、デメリットを問う設問の設定をした。
- ・タブレット端末導入前から授業をしている教員に対する設問を設定した。
- ・回答に自由記述を設定した。
- ・学校のタブレット端末だけでなく、家庭の端末についても問う設問の設定をした。



Q. タブレット端末は、授業改善に寄与していると思いますか

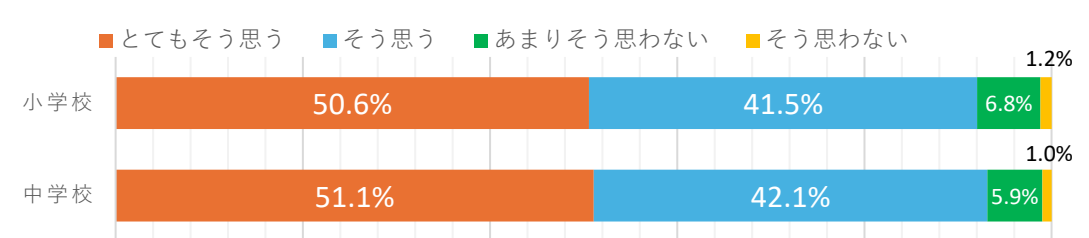
■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない
回答数



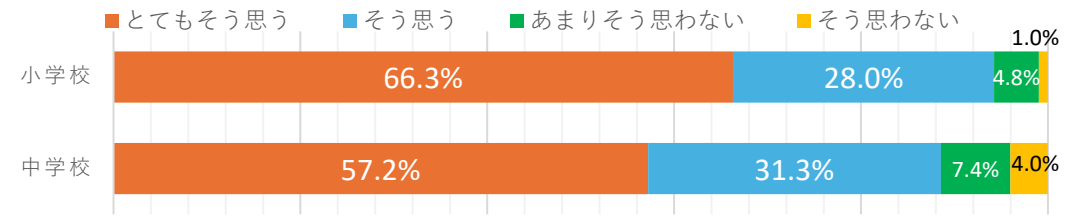
活用の効力感（端末の有用性）

Q. タブレット端末を活用することで、次のどのようなことがあてはまりますか

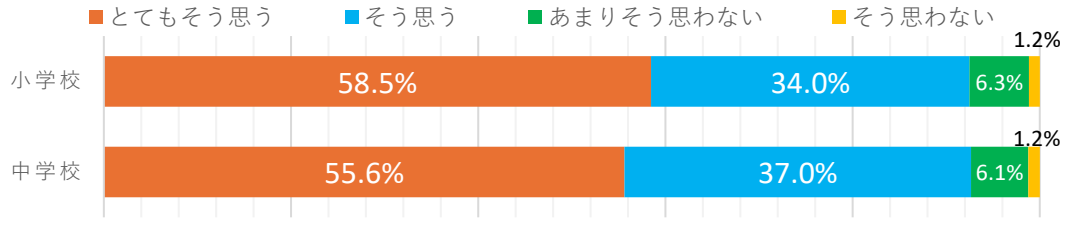
自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



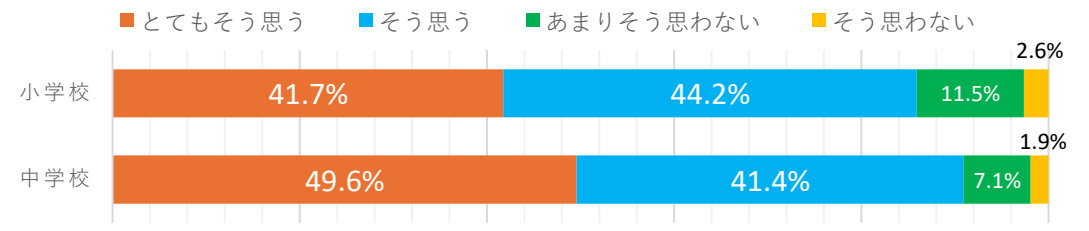
わからないことがあったら、すぐ調べることができる



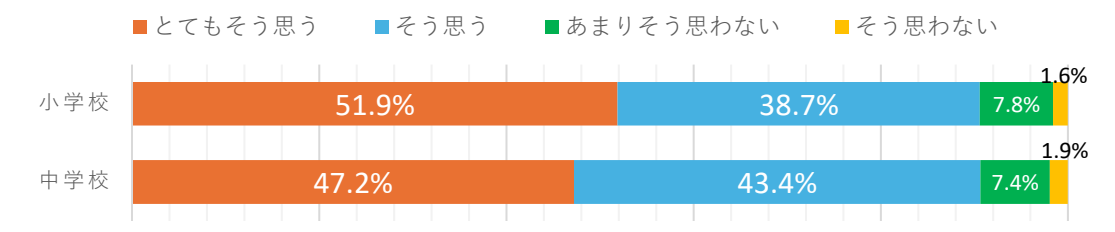
楽しみながら学習を進めることができる



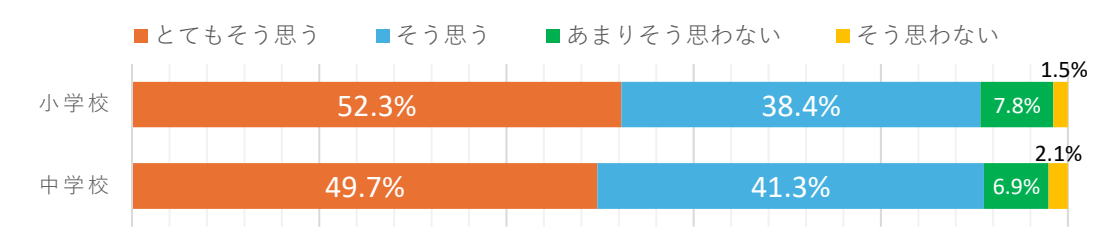
画像や動画、音声を活用することで、学習内容がよくわかる



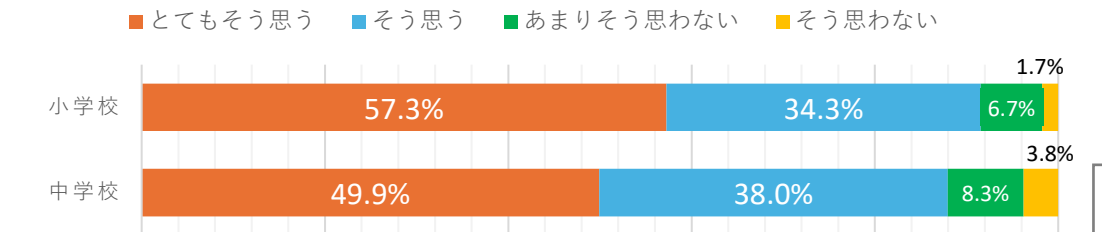
自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる



友達と協力しながら学習を進めることができる



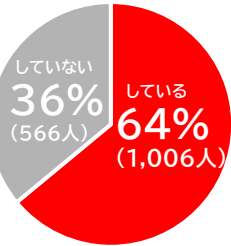
友達と考えを共有したり、比べたりしやすくなる



端末への意識（端末が導入されて感じる児童生徒の変化）

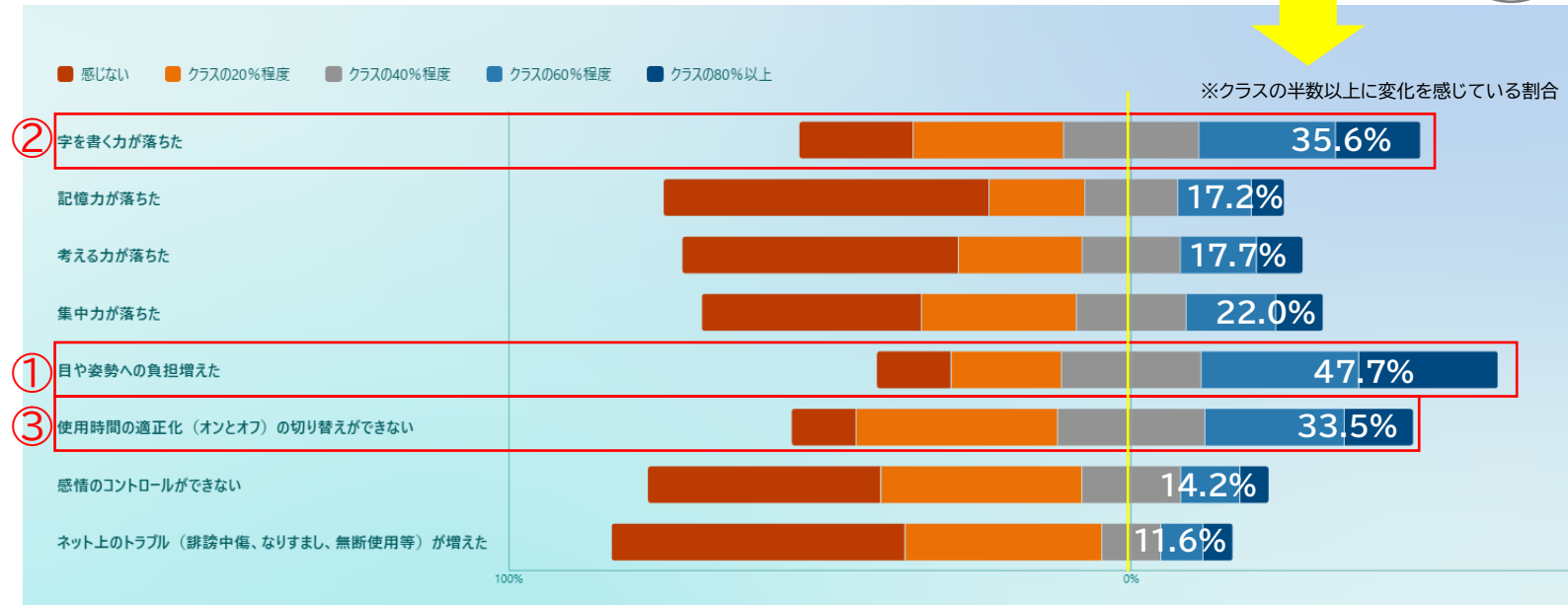
小学校教員 n=1,573

タブレット導入前から授業をしていたか



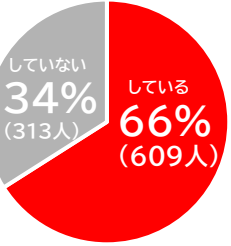
タブレットが導入されて感じる児童の変化

- ※クラスの半数以上に変化を感じている割合
- 1位 **目や姿勢への負担(47.7%)** 750人
 - 2位 **字を書く力(35.6%)** 559人
 - 3位 **オンオフの切り替え(33.5%)** 526人



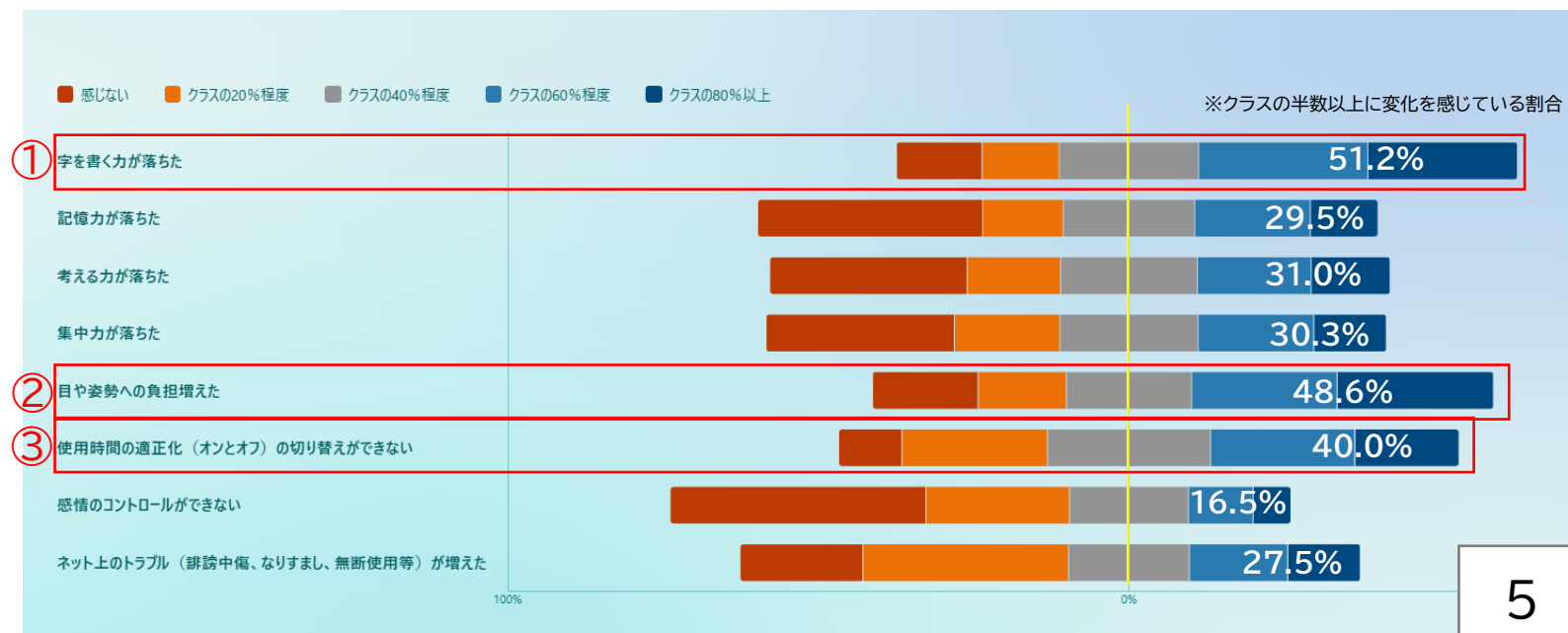
中学校教員 n=923

タブレット導入前から授業をしていたか



タブレットが導入されて感じる生徒の変化

- ※クラスの半数以上に変化を感じている割合
- 1位 **字を書く力(51.2%)** 472人
 - 2位 **目や姿勢への負担(48.6%)** 448人
 - 3位 **オンオフの切り替え(40.0%)** 369人



Q. 学校のタブレットを使っているときに、次のことがどのくらいあてはまりますか

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

【学習面】

- 1. 操作が難しくて学習が進まない
- 2. タブレットがあると集中できない

【生活・健康面】

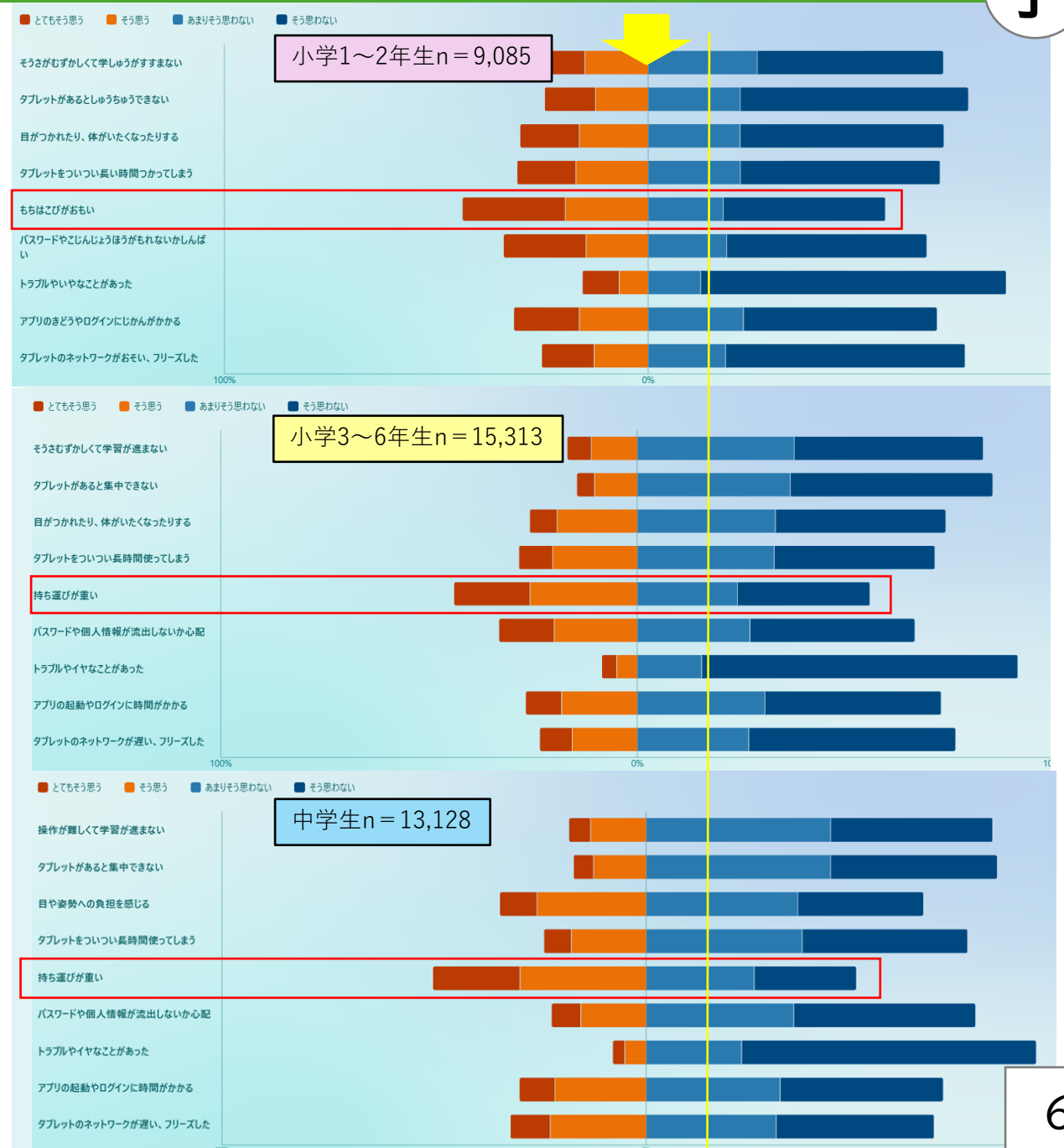
- 3. 目や姿勢への負担を感じる
- 4. タブレットをいつい長時間使ってしまう
- 5. 持ち運びが重い

【安全面】

- 6. パスワードや個人情報が流出しないか心配
- 7. トラブルやイヤなことがあった

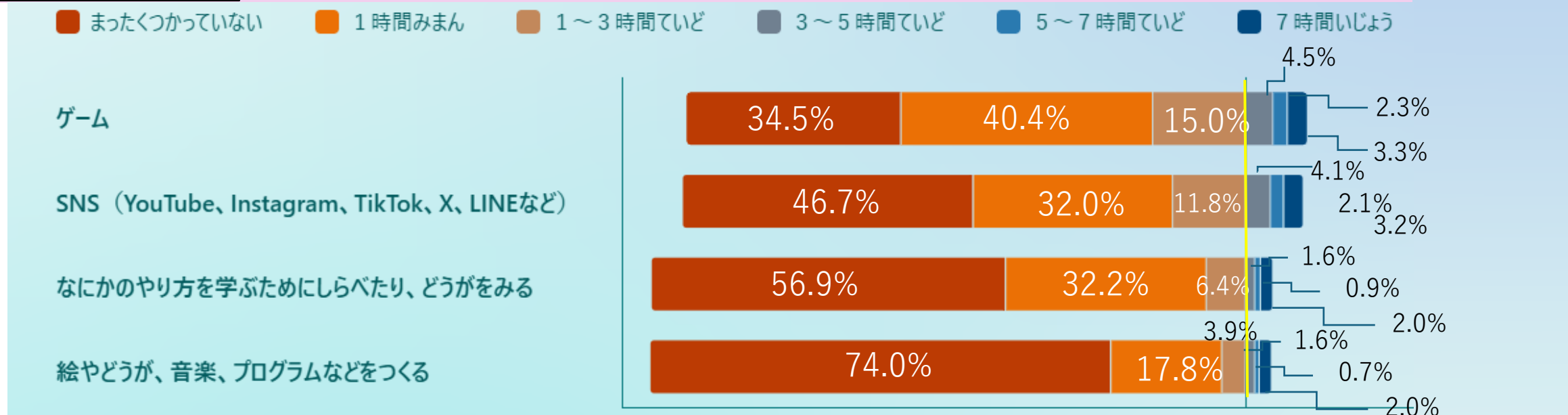
【環境面】

- 8. アプリの起動やログインに時間がかかる
- 9. タブレットのネットワークが遅い、フリーズした

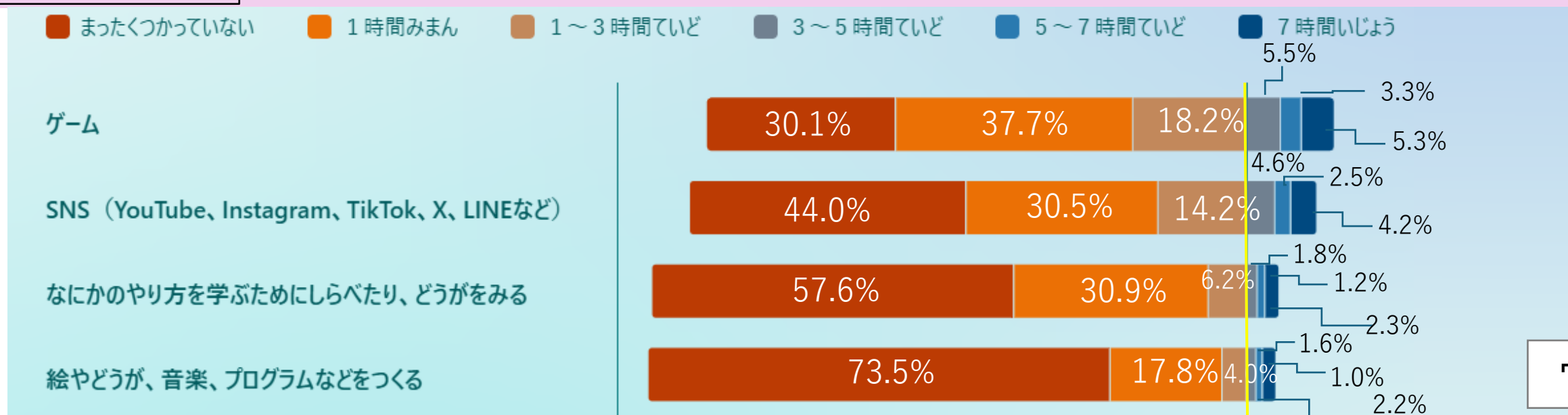


端末の取扱い（家庭用端末の使用内容と使用時間）

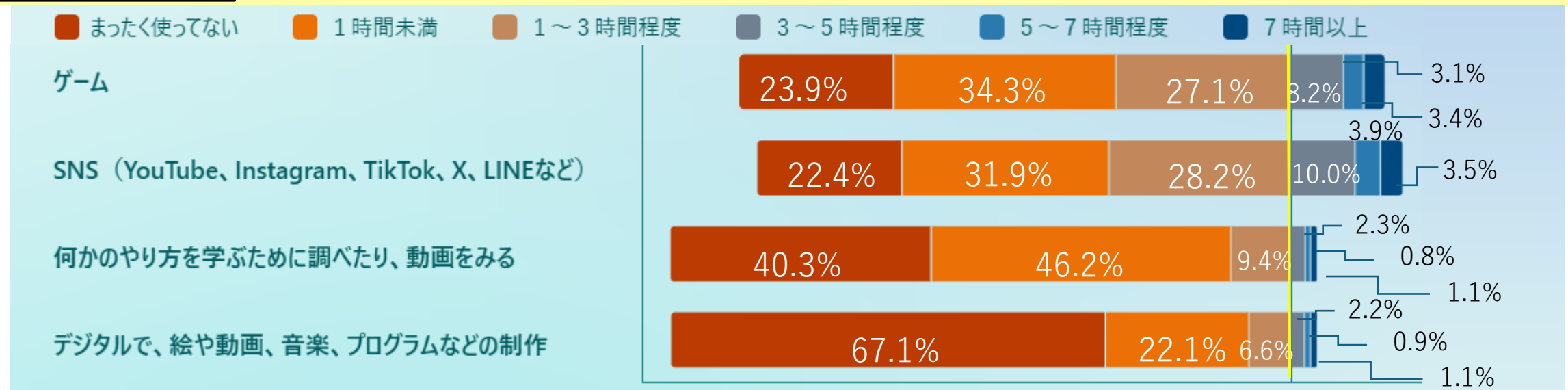
小学1~2年生 n=9,085 学校のある日（平日）、家のスマホやタブレット、パソコンどのくらい使っていますか



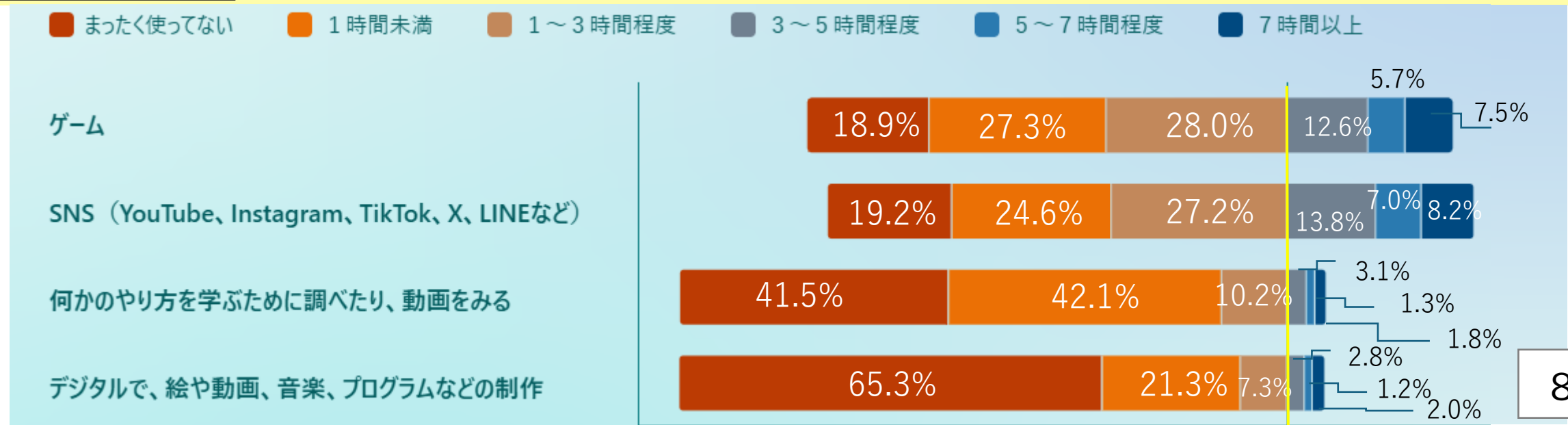
小学1~2年生 n=9,085 学校のない日（休日）、家のスマホやタブレット、パソコンどのくらい使っていますか



小学3～6年生 n=18,449 学校のある日（平日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



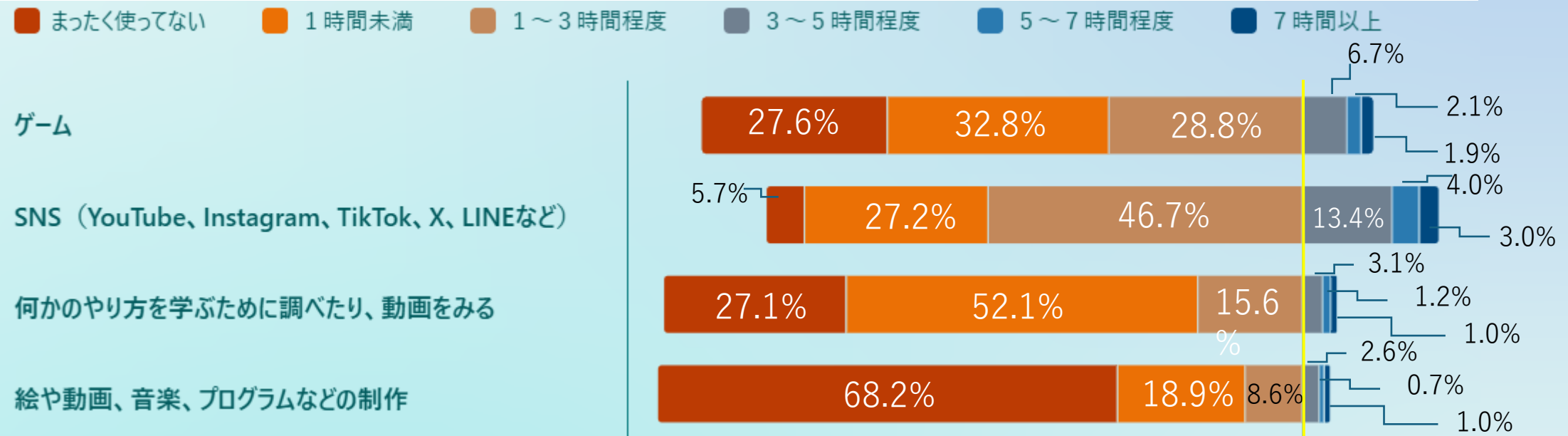
小学3～6年生 n=18,449 学校のない日（休日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



端末の取扱い（家庭用端末の使用内容と使用時間）

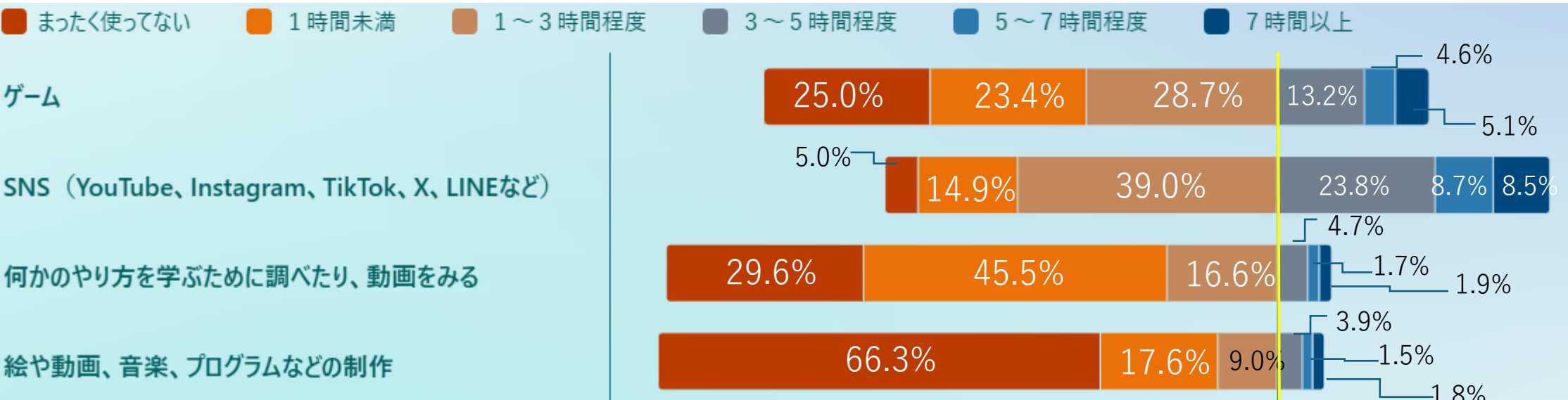
中学生n=13,128

学校のある日（平日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



中学生n=13,128

学校のない日（休日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



【児童生徒】

- 「楽しみながら学習できる」や「理解がしやすくなる」などの、タブレットを使うことで生まれる効力感や有用性を感じている児童生徒は、7つの設問のいずれにおいても**9割前後**だった。(4ページ)
- タブレットを使っているときの困りごととして、最も多かったのは、小中学校ともに「持ち運びが重い」だった。(6ページ)
- 家庭用端末での使用時間は、小学校中学年から「3時間以上」の利用が増える傾向にあった。(8ページ)

【教員】

- タブレットが「授業改善に寄与している」と感じている教員は小中学校ともに**8割を超えた**(3ページ)
- タブレットを活用することで、子どもたちが「楽しみながら学習できる」「理解がしやすくなる」と感じている教員は、小中学校ともに**8割を超えた**(25ページ)
- 児童生徒の「書く力の低下」や「目や姿勢への負担が増加」との回答が**3～5割程度**あった。(5ページ)

參考資料

【熊本市タブレットの約束】

- ・ 学びを深め、生活を豊かにするために使います
- ・ 自分のことも相手のことも大切にしたい使い方をします

タブレットびらき

～iPadを学びの相棒にしよう！～

アイちゃん

カラちゃん

熊本市教育センター
(2025.4)

↑「タブレットびらき」動画

2025.4.ver

授業の主役は、あなたたちだ！ iPadを学びの相棒（パートナー）に！

みづか まな む ちから はぐく きょういく すいしん★
自ら学びに向かう力を育む教育の推進【児童・生徒編】

ひとり いちだいたんまつ かつよう とお
～1人1台端末の活用を通して～

【熊本市タブレットの約束】

- ・ 学びを深め、生活を豊かにするために使います
- ・ 自分のことも相手のことも大切にしたい使い方をします

タブレットでできることが広がるよ。新しいアイデアもうまれるはず！

アイちゃん

さまざまな学びに活用できるといいね

できるようになってほしいこと

基本スキル	情報機器の正しい使い方を知る	映像の撮影や編集を行う	自分の考えを発表する
	新聞・レポート・リーフレットなどを作る	録音や音楽づくりをする	プログラミングする
探究スキル	わからないことを調べる	思考ツールなどを使って考える	仲間と協力して学びあう

知っておいてほしいこと

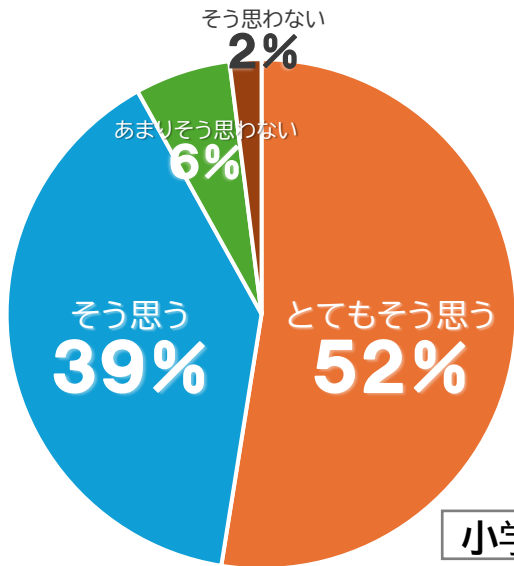
- タブレット端末について**
タブレット端末は熊本市から貸し出している、学びのためのツール（道具）です。学校や家庭で適切に活用してください。
- 持ち帰りについて**
学校の授業や家庭学習などで使うので、毎日家に持ち帰ります。家に帰ったら、タブレット端末の充電をしてください。
- こわれた時・パスワードがわからなくなった時について**
タブレット端末はていねいにあつかってください。こわれたり、失くしたりしたときや、パスワードがわからなくなった時は、すぐに学校に伝えてください。
- 使用量について**
タブレット端末ごとに、通信量がわかります。通信量が多い時は、健康面の確認のため、使用方法について学校から家庭に連絡をすることがあります。
- 返却について**
学年が上がる時には、そのまま持ち上がりますが、卒業する時には、タブレット端末、キーボードケース、充電器は返却になります。

熊本市教育センター

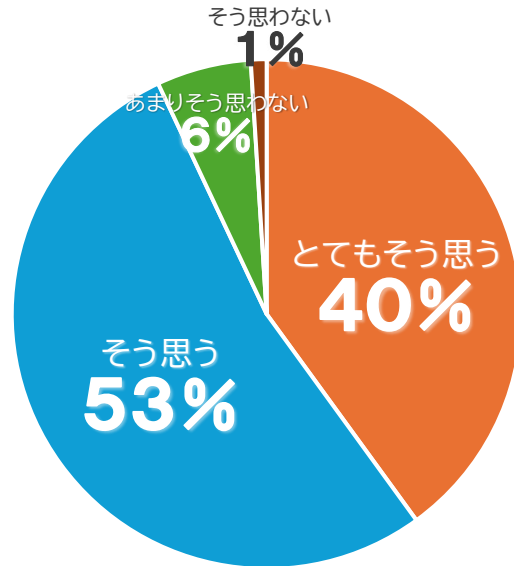
↑リーフレット【児童・生徒編】

Q. タブレット端末を「学びを深め、生活を豊かにすること」につなげられていますか

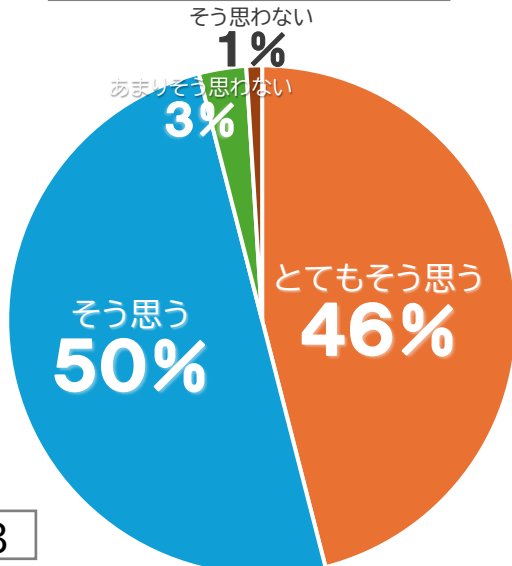
小1～2年生 n=9,085



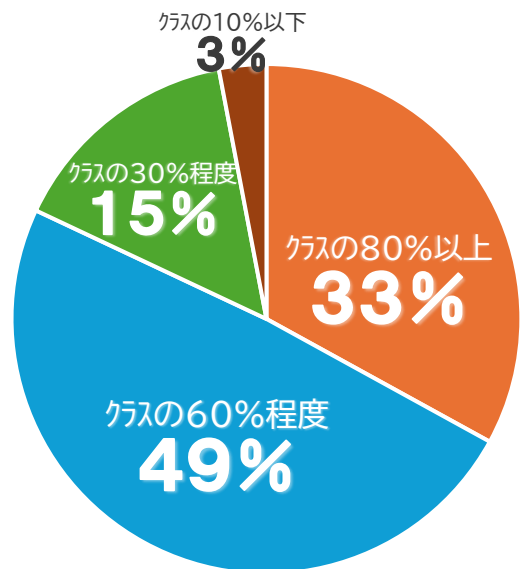
小3～6年 n=18,449



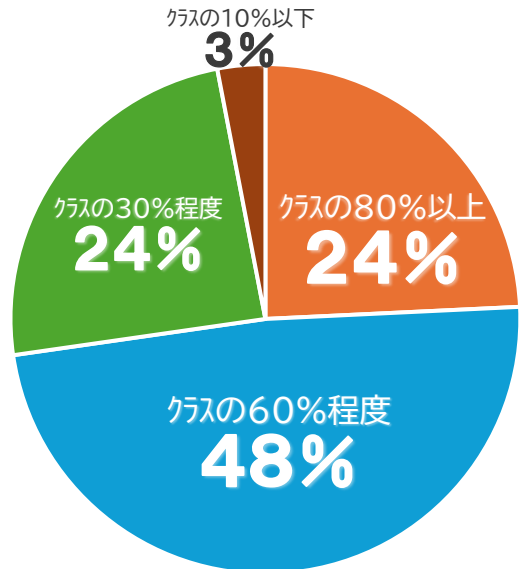
中学生 n=13,818



小学校教員 n=1,573

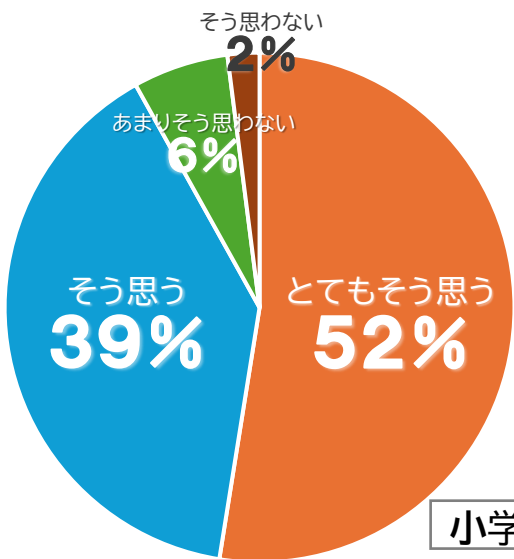


中学校教員 n=923

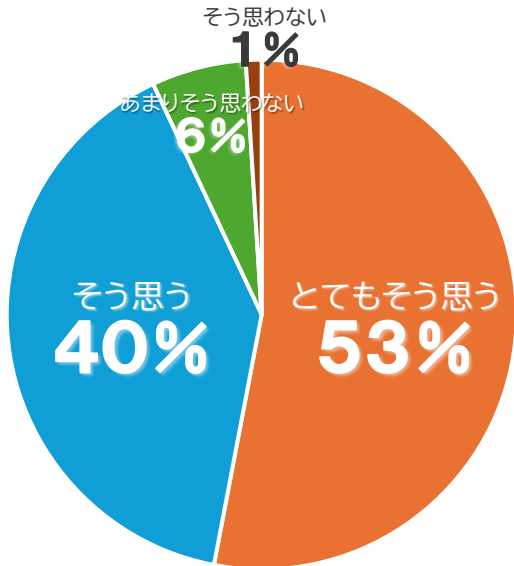


Q. タブレット端末を「自分のことも、相手のことも大切にしたい使い方」につながられていますか

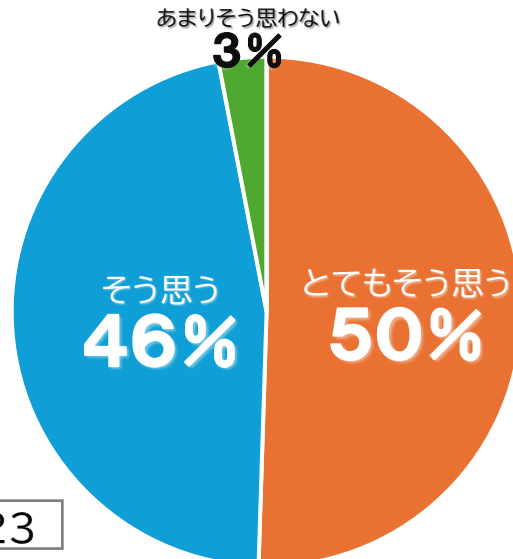
小1～2年生 n=9,085



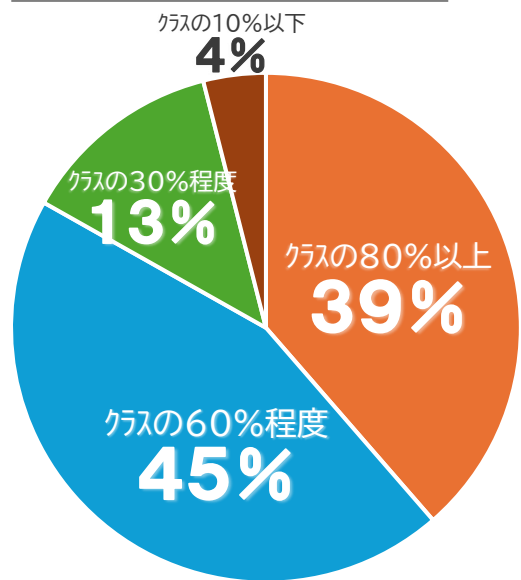
小3～6年 n=18,449



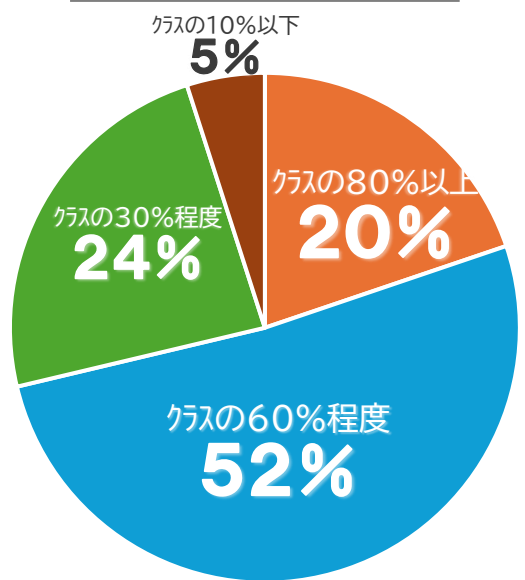
中学生 n=13,818



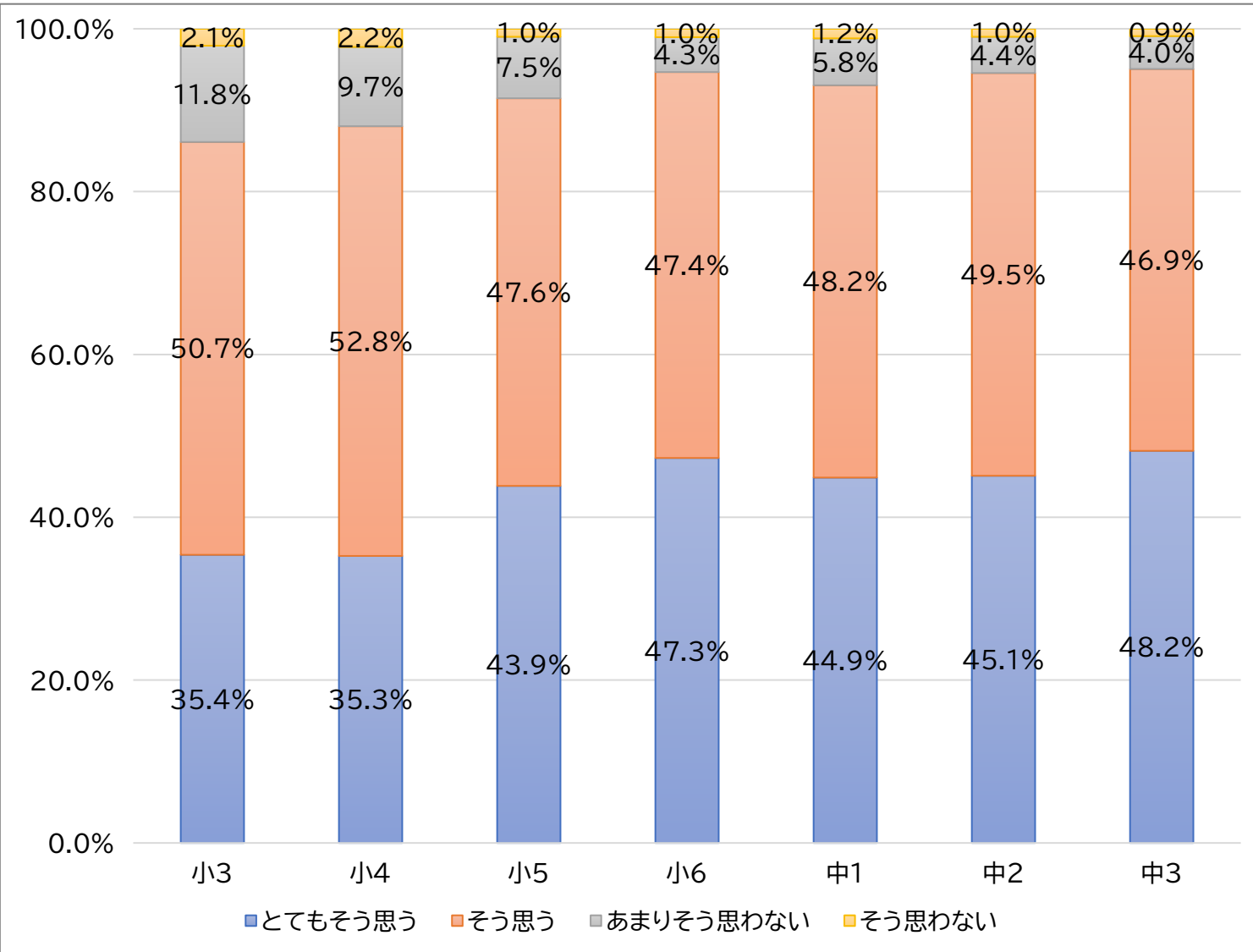
小学校教員 n=1,573



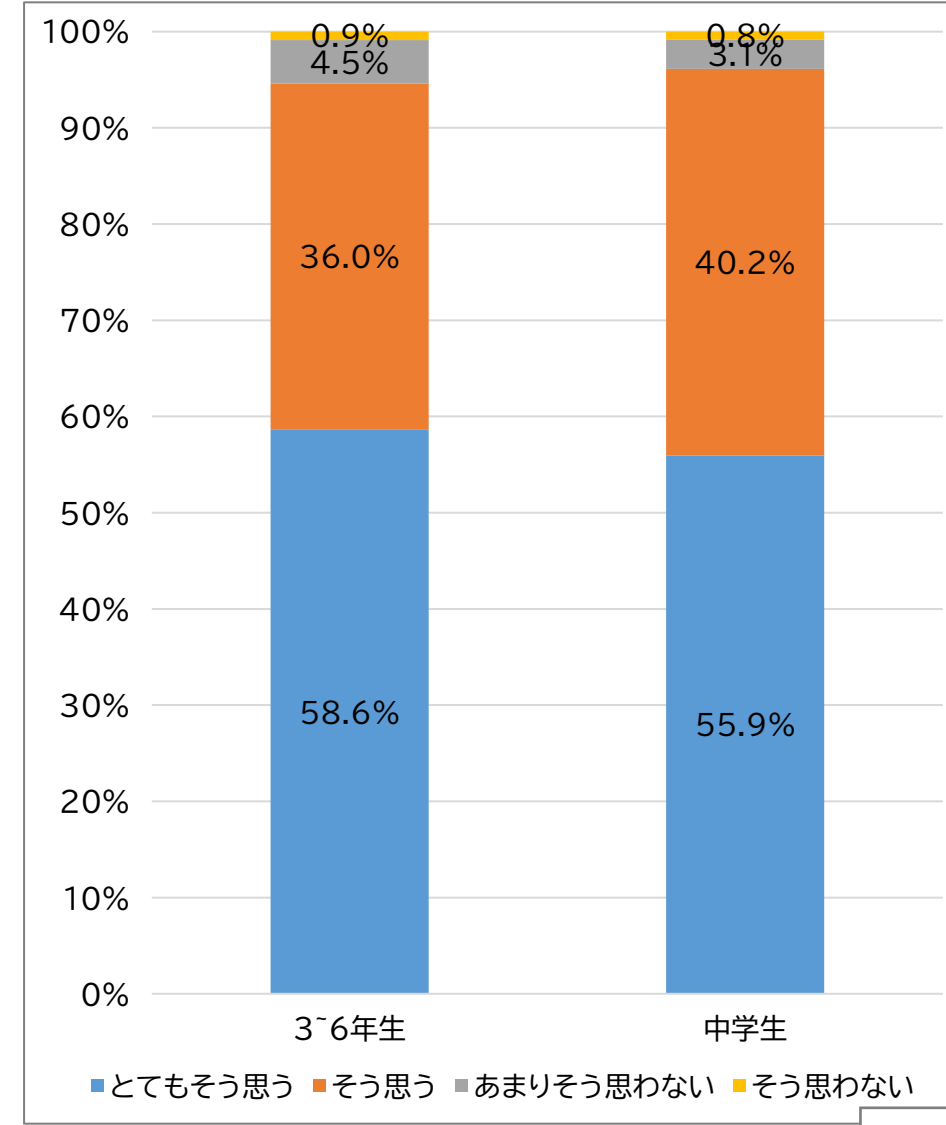
中学校教員 n=923



Q.学習の中でタブレット端末を活用することが有効だと感じますか



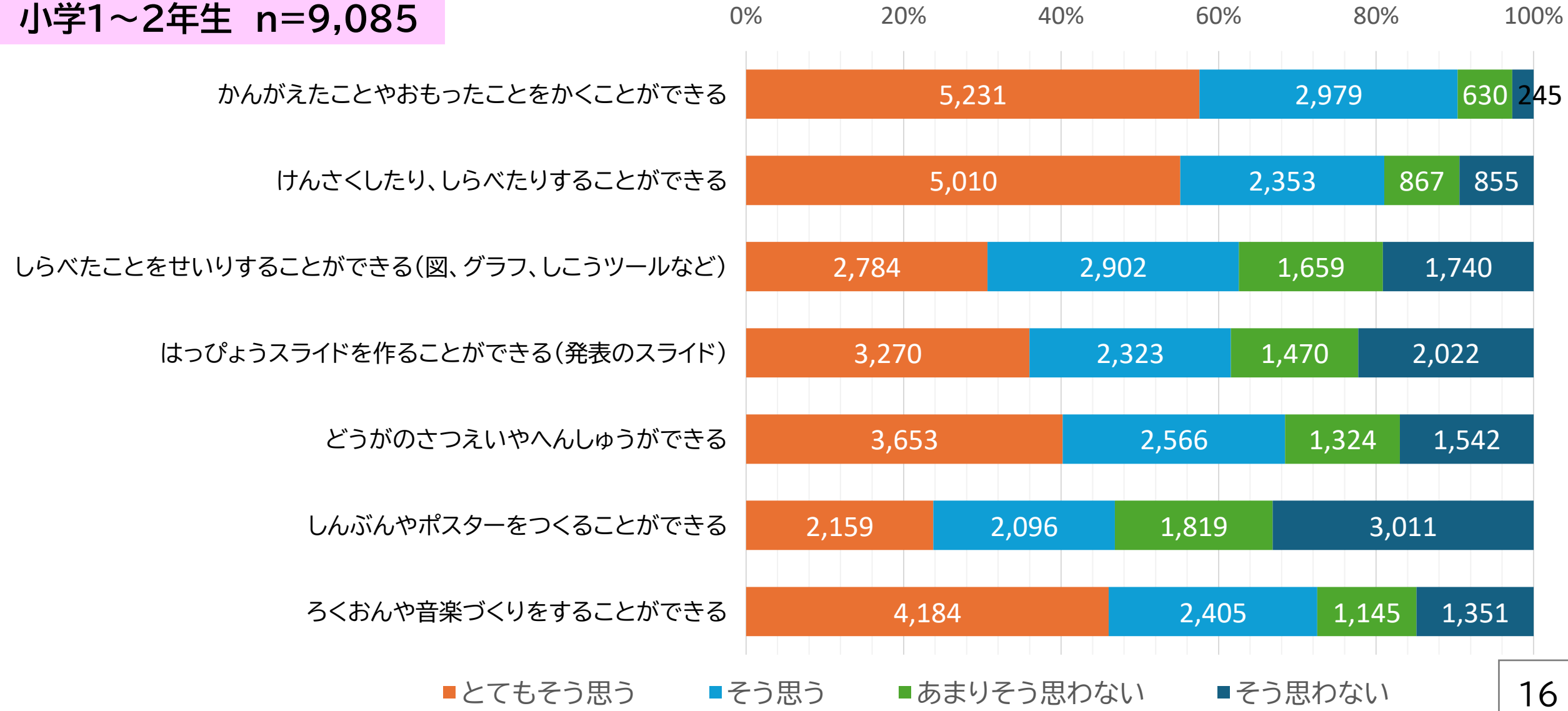
令和6年度



令和7年度

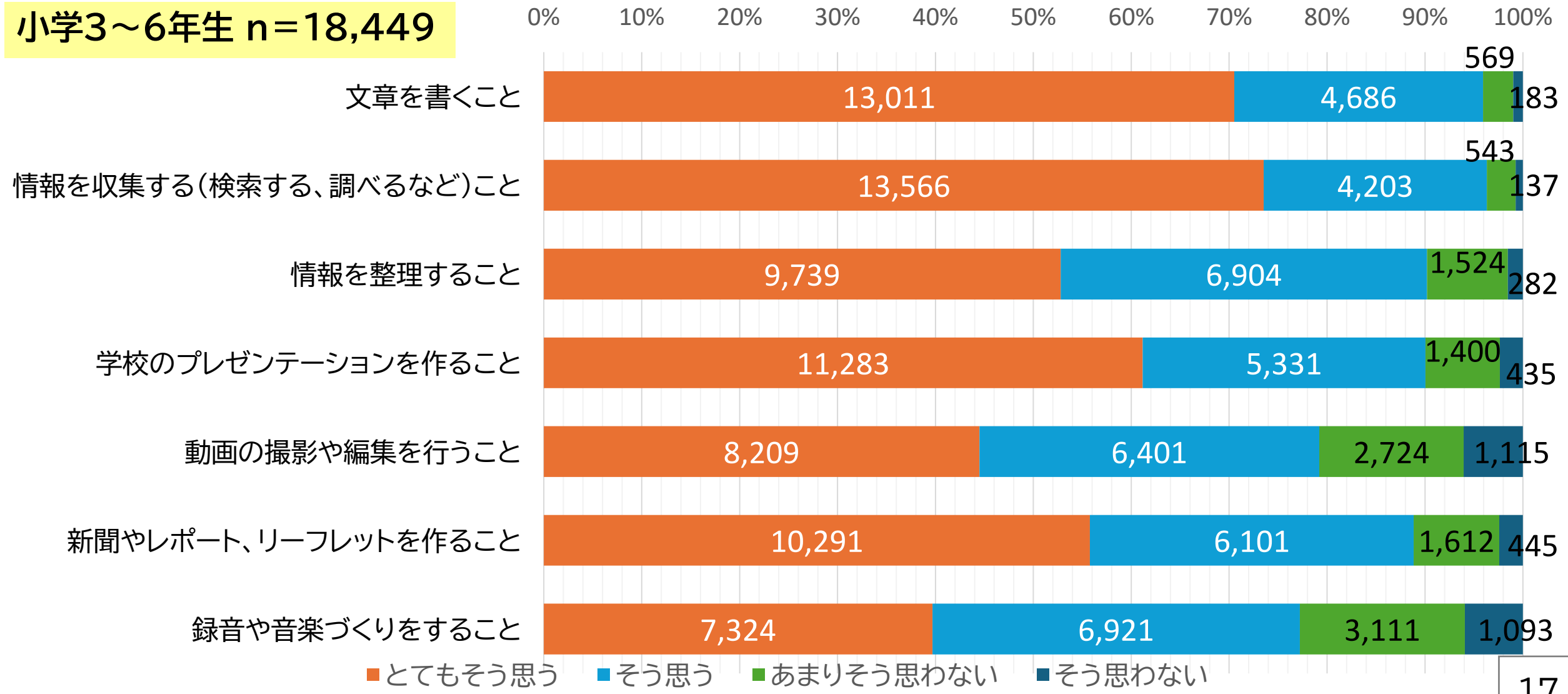
Q.タブレットを使って、次のことができますか

小学1～2年生 n=9,085



Q.タブレットを使って、次のことができると思いますか

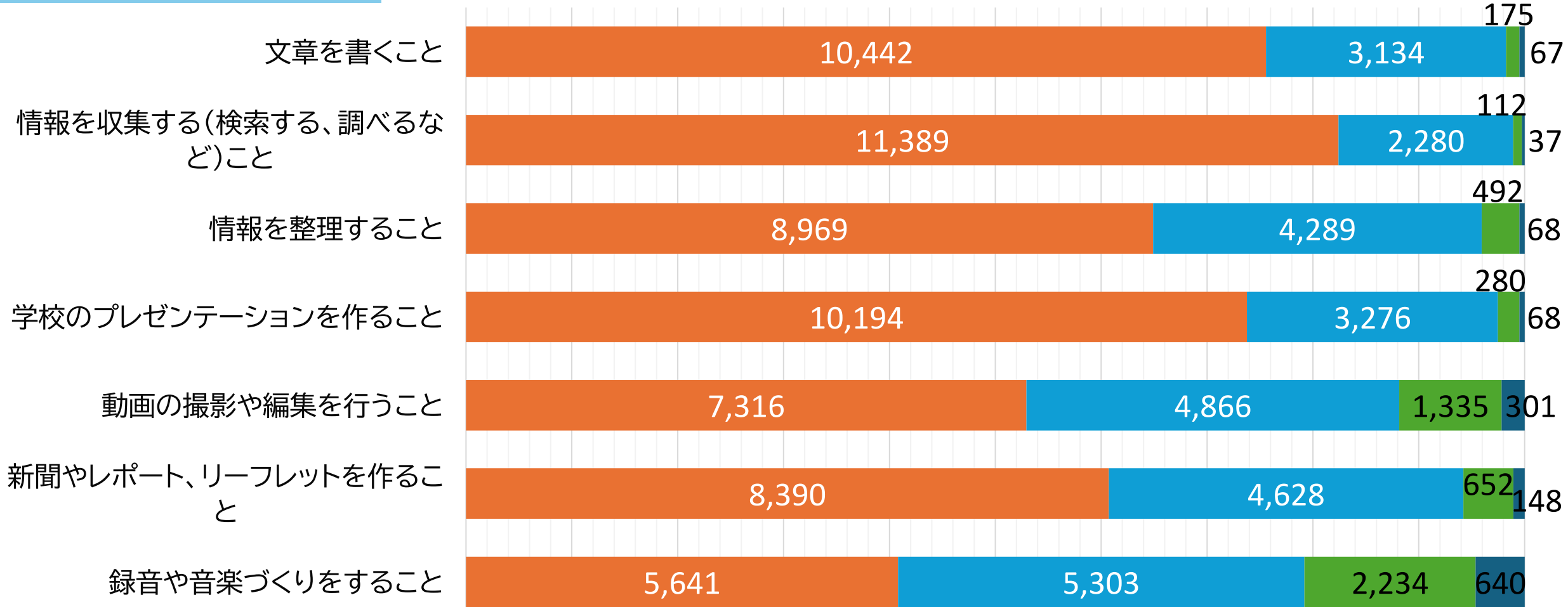
小学3～6年生 n=18,449



Q.タブレットを使って、次のことができると思いますか

中学生 n=13,818

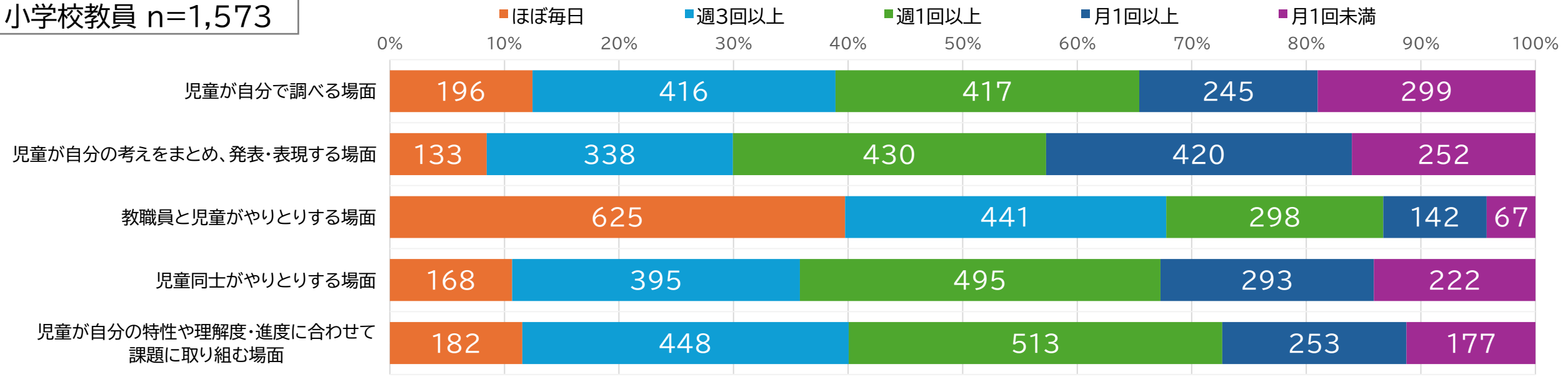
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



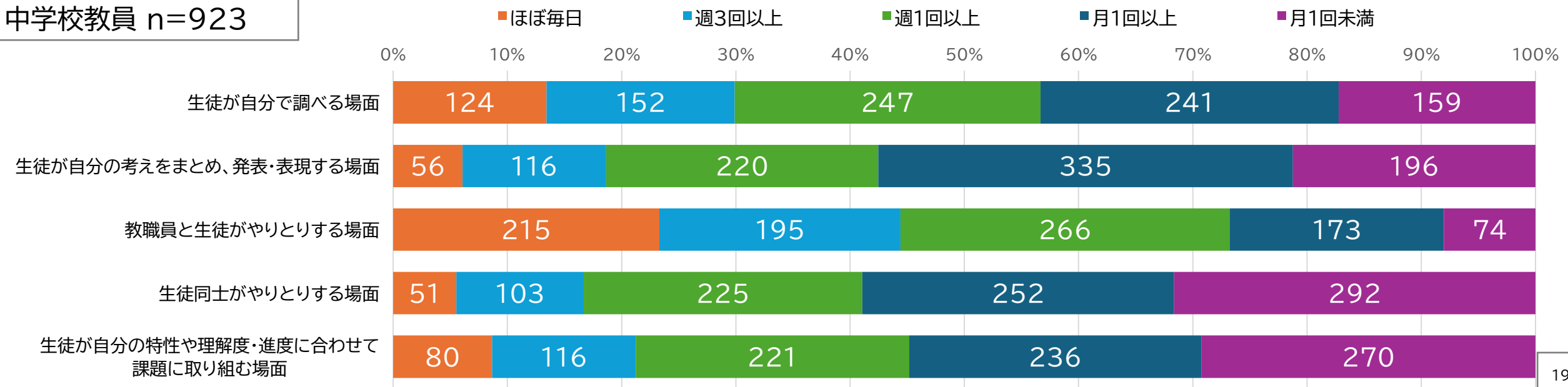
■とても思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

授業での活用（活用場面と程度）

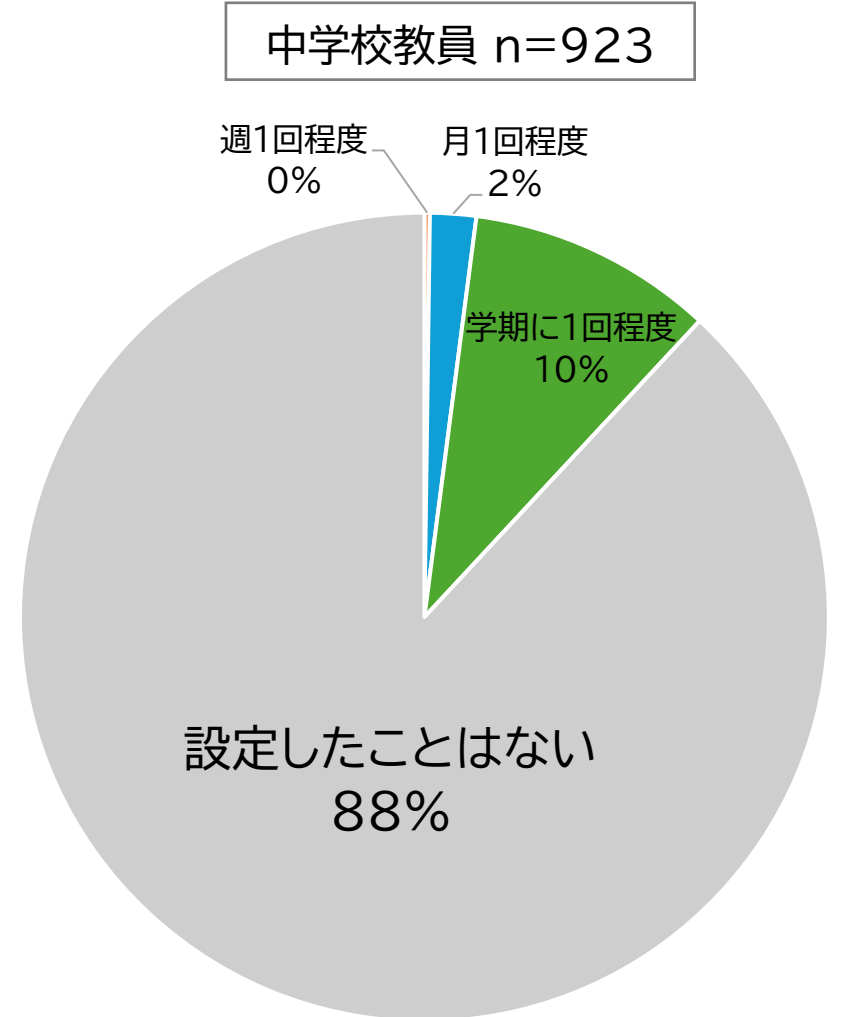
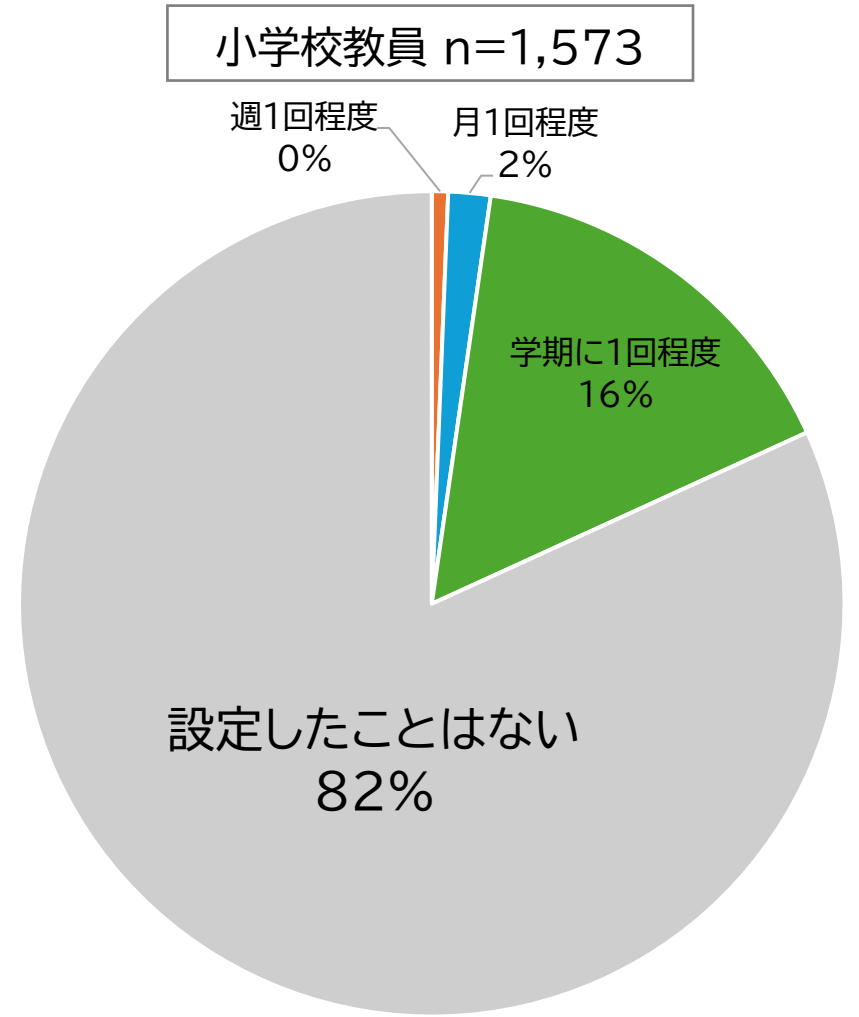
小学校教員 n=1,573



中学校教員 n=923



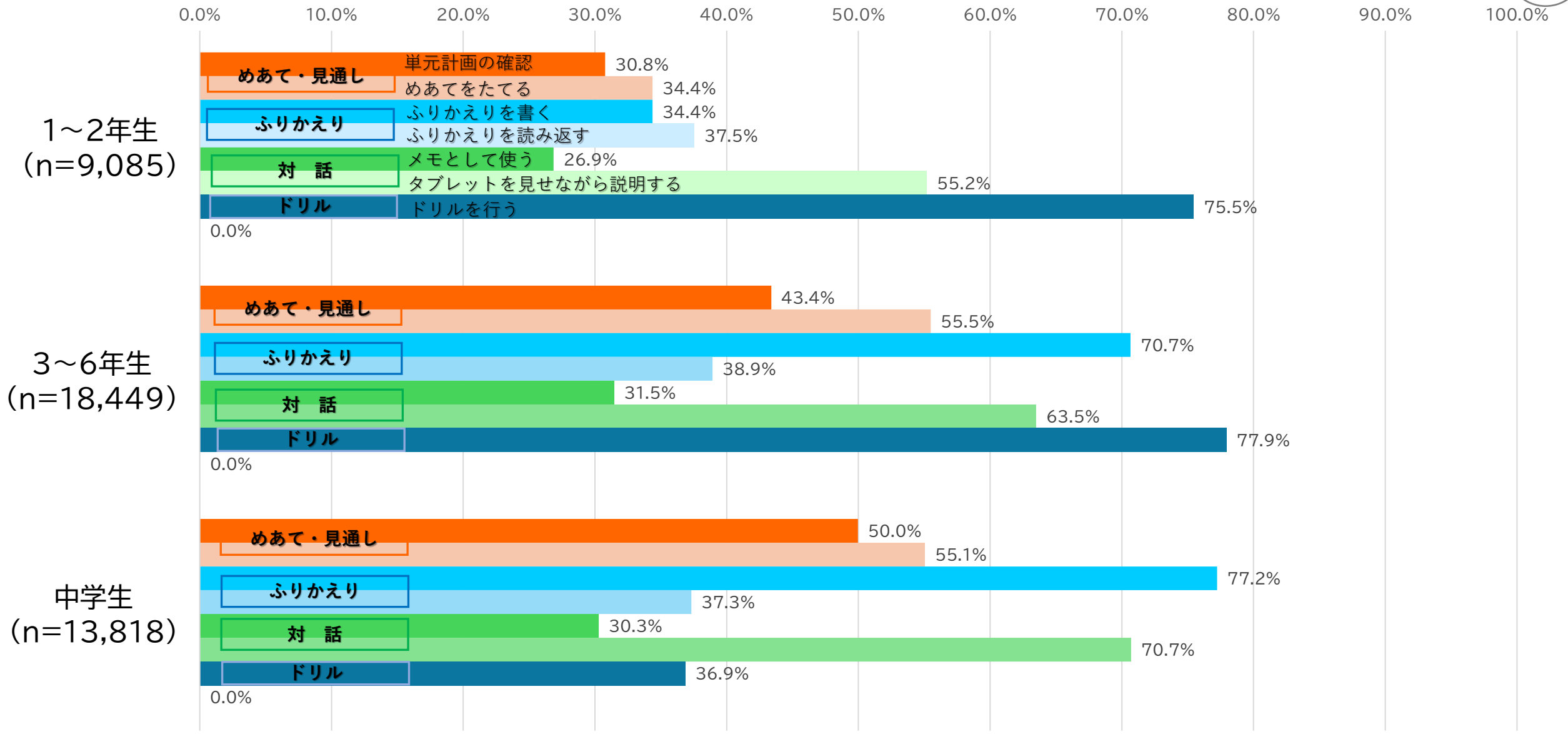
Q. 学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする場面を設定したことがありますか



■ 週1回程度 ■ 月1回程度 ■ 学期に1回程度 ■ 設定したことはない

■ 週1回程度 ■ 月1回程度 ■ 学期に1回程度 ■ 設定したことはない

授業での活用 (めあて・対話・ふりかえり) ※複数回答可

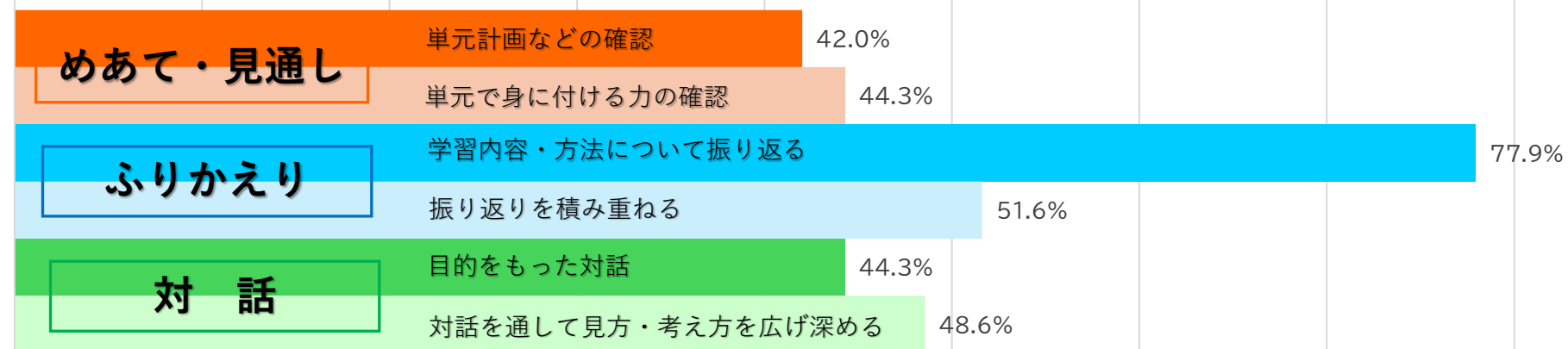


- これから学習する内容を、先生と確認したり、見通しを持ったりするとき
- これから学習したいことを、みんなで考えたり、自分で決めたりするとき
- 学習した内容を、ふりかえって書くとき
- これまでの学習内容やふりかえりを読み返して考えるとき
- 対話で、自分のメモとして使うとき
- 対話で、タブレットを見せながら説明するとき
- 自分でドリル(ドリルパークなど)をするとき
- その他

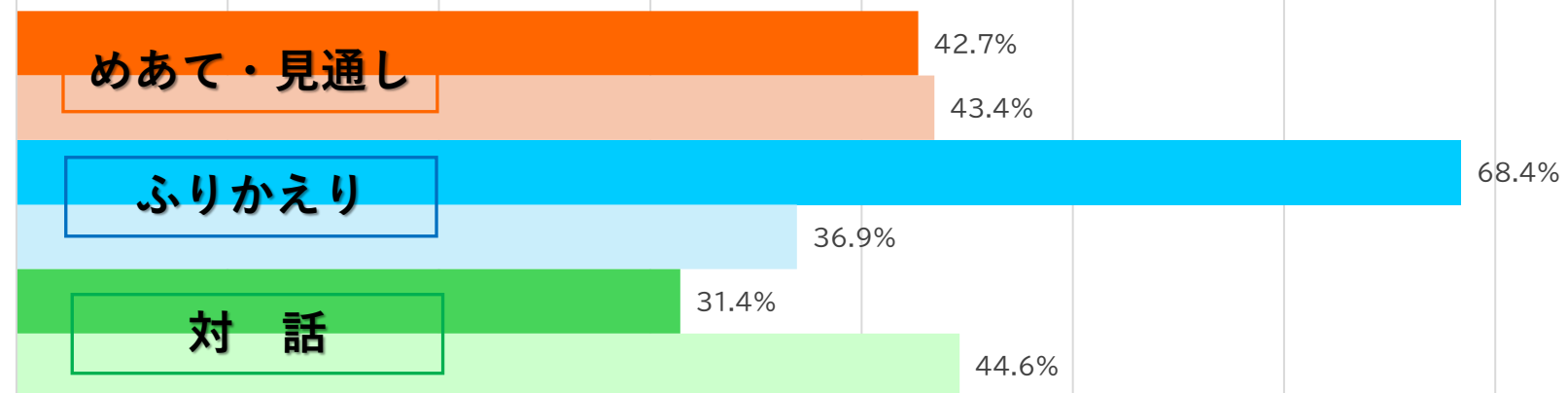
授業での活用 (めあて・対話・ふりかえり) ※複数回答可

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

小学校教員 (n=1,573)

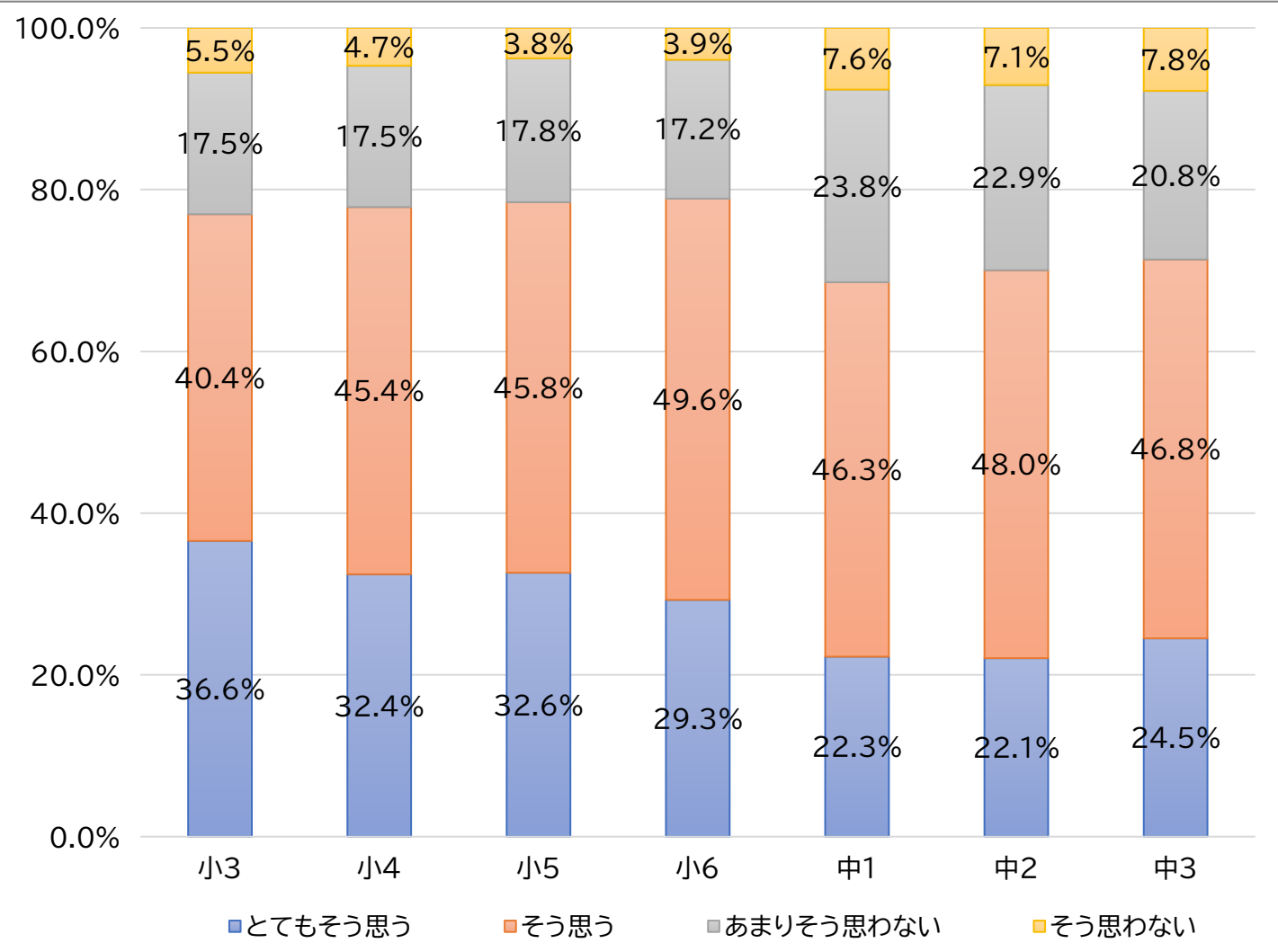


中学校教員 (n=923)

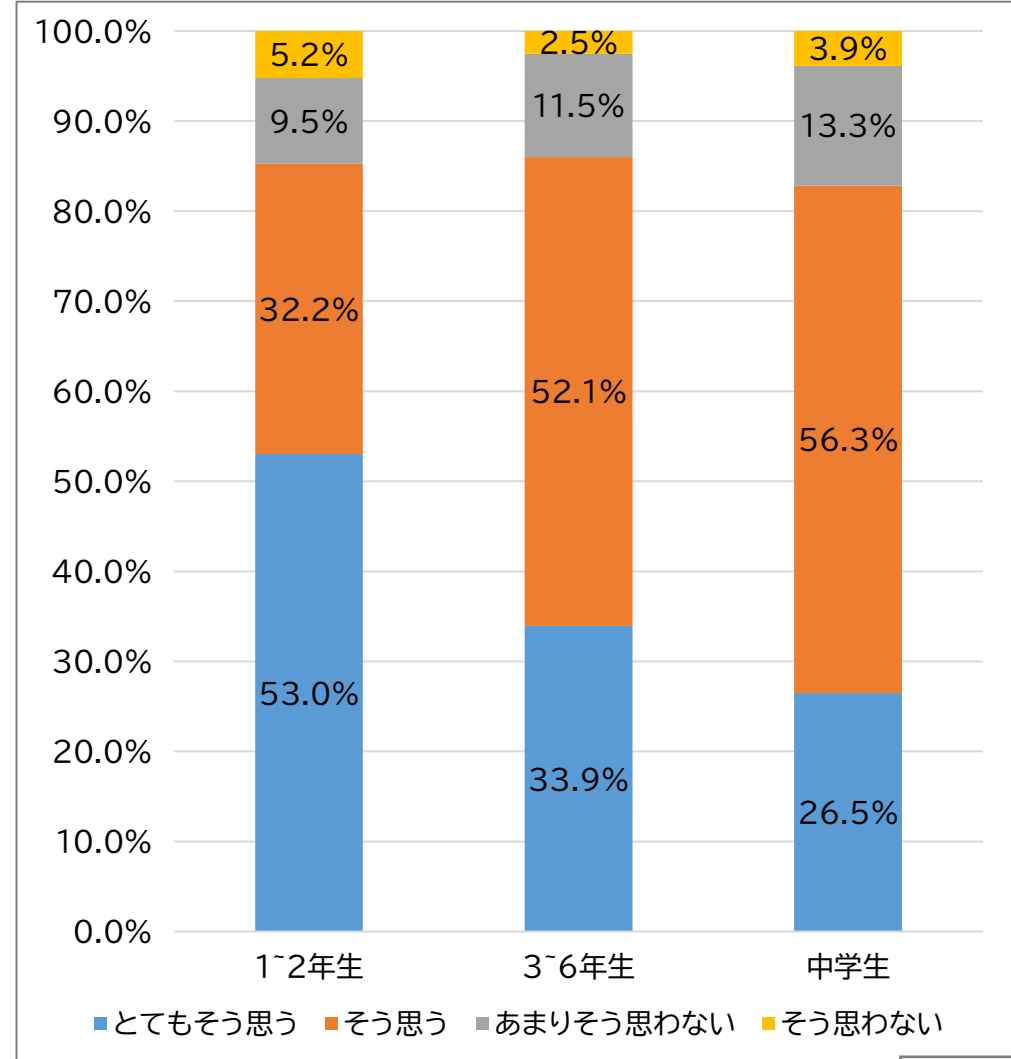


- 児童・生徒が、単元(題材)全体や本時の見通しをもって学べるように
- 児童・生徒が、単元(題材)や本時を通して身に付ける力が何かを理解できるように
- 児童・生徒が、学習内容・学習方法などについて、振り返ることができるように
- 児童・生徒が、単元(題材)を通して自分の成長や変化に気づくような振り返りを積み重ねられるように
- 児童・生徒が、目的をもって対話できるように
- 児童・生徒が、対話を通して、見方や考え方を広げたり深めたりできるように

Q.ドリルやアプリを使うことで学習がわかるようになったと思いますか



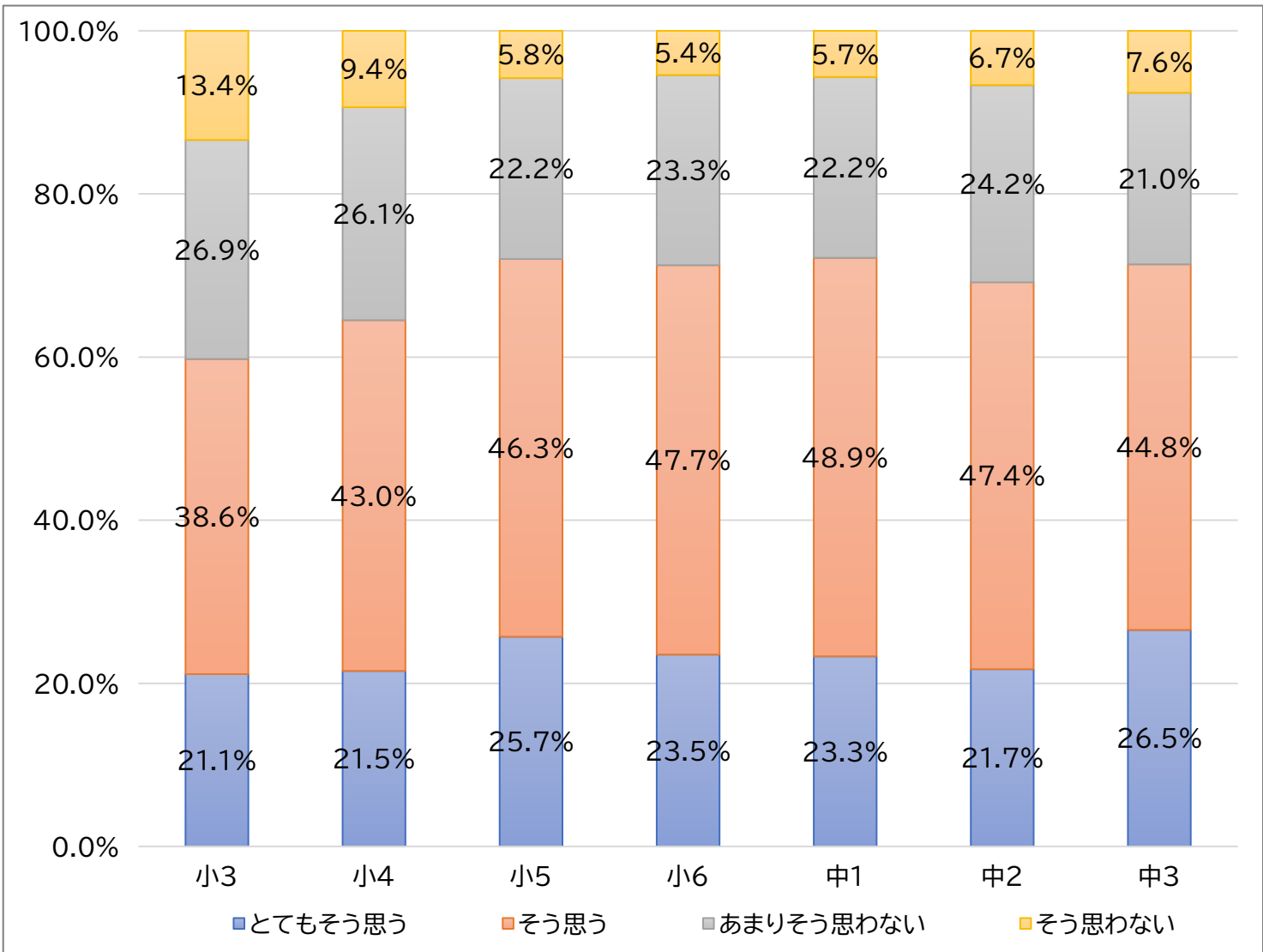
令和6年度



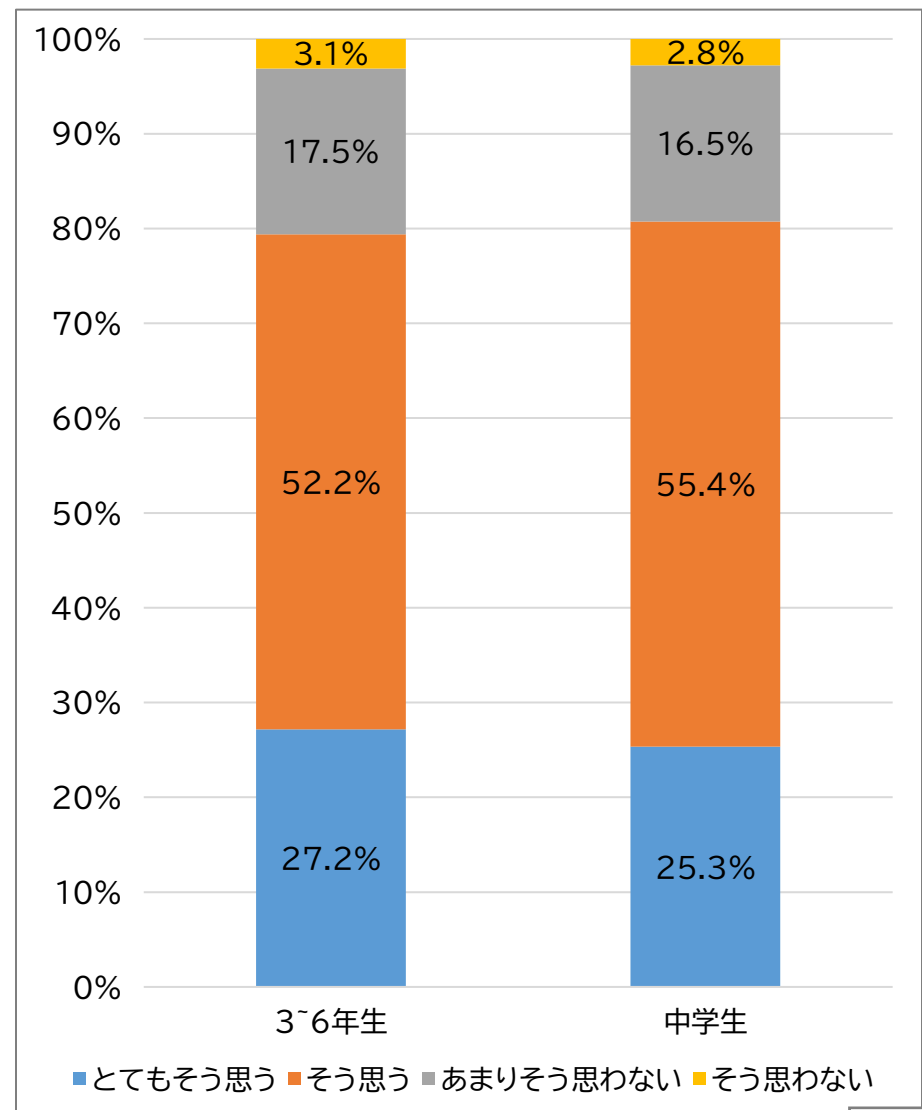
令和7年度

端末の効力感 (地域社会)

Q.タブレット(デジタル技術)を活用した自らの学習・行動が、地域や社会をよくすることにつながったと思いますか



令和6年度

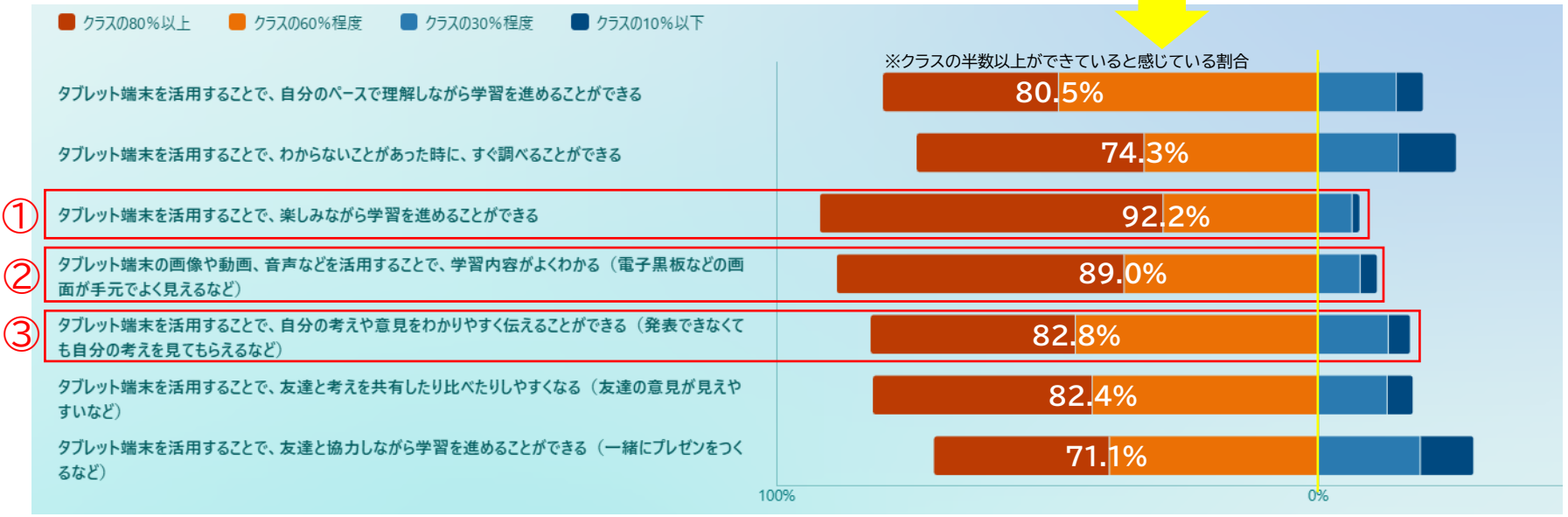


令和7年度

Q. タブレット端末があって良かったことを教えてください

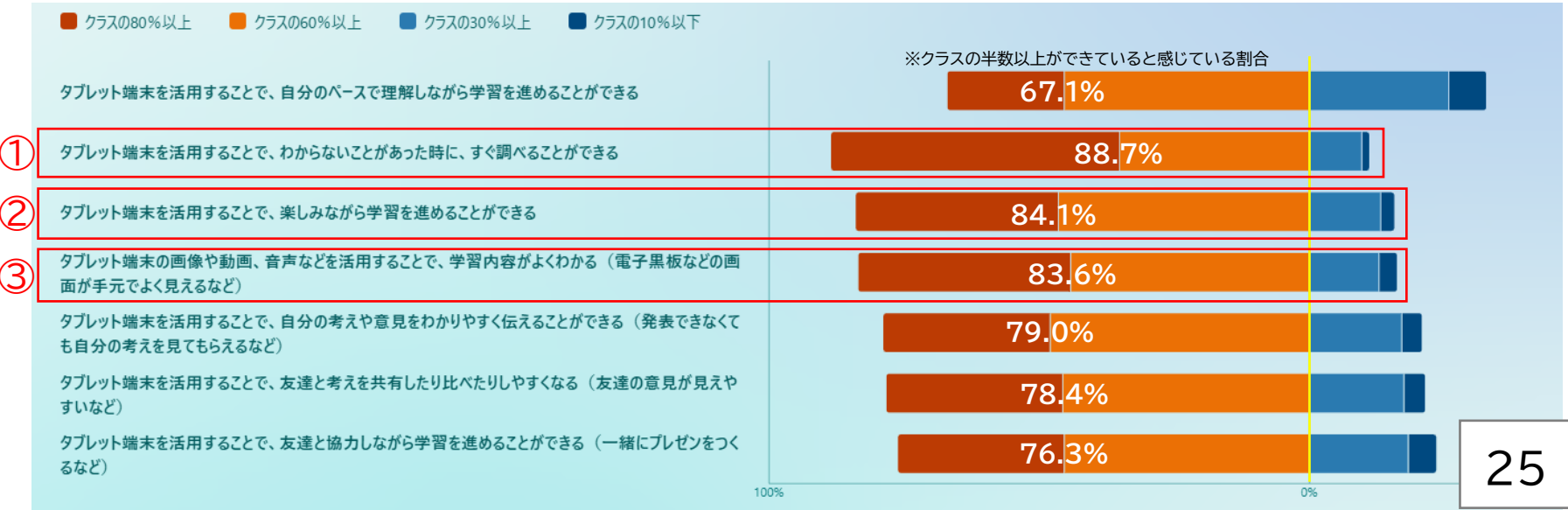
小学校教員 n=1,573

- ※クラスの半数以上ができていると感じている割合
- 1位
 - ・楽しみながら学習を進める(92.2%)
 - 2位
 - ・画像、動画、音声などを活用することで、学習内容がよくわかる(89.0%)
 - 3位
 - ・考えや意見をわかりやすく伝えられる(82.8%)



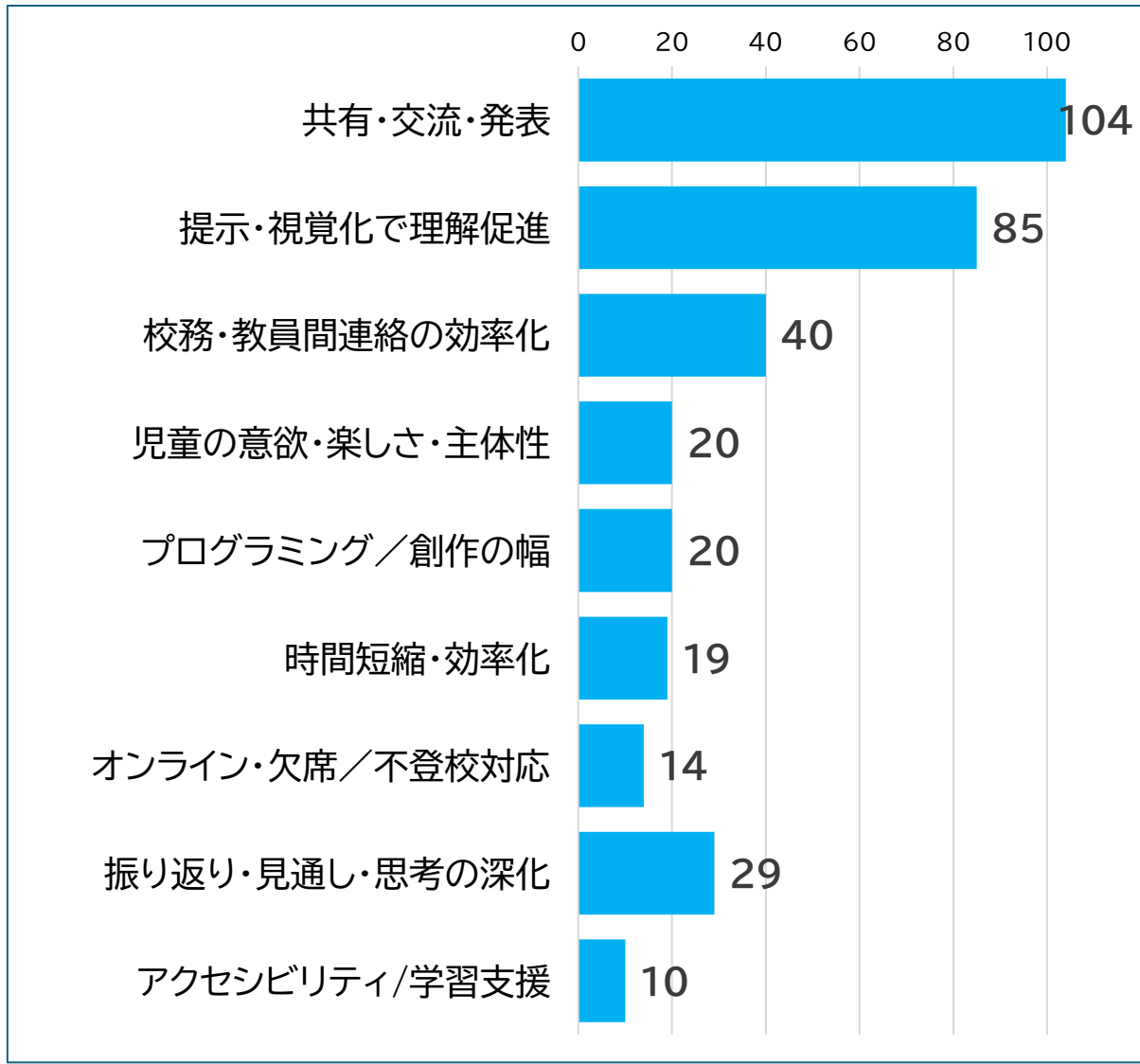
中学校教員 n=923

- ※クラスの半数以上ができていると感じている割合
- 1位
 - ・すぐ調べることができる (88.7%)
 - 2位
 - ・楽しみながら学習を進める(84.1%)
 - 3位
 - ・画像、動画、音声などを活用することで、学習内容がよくわかる (83.6%)

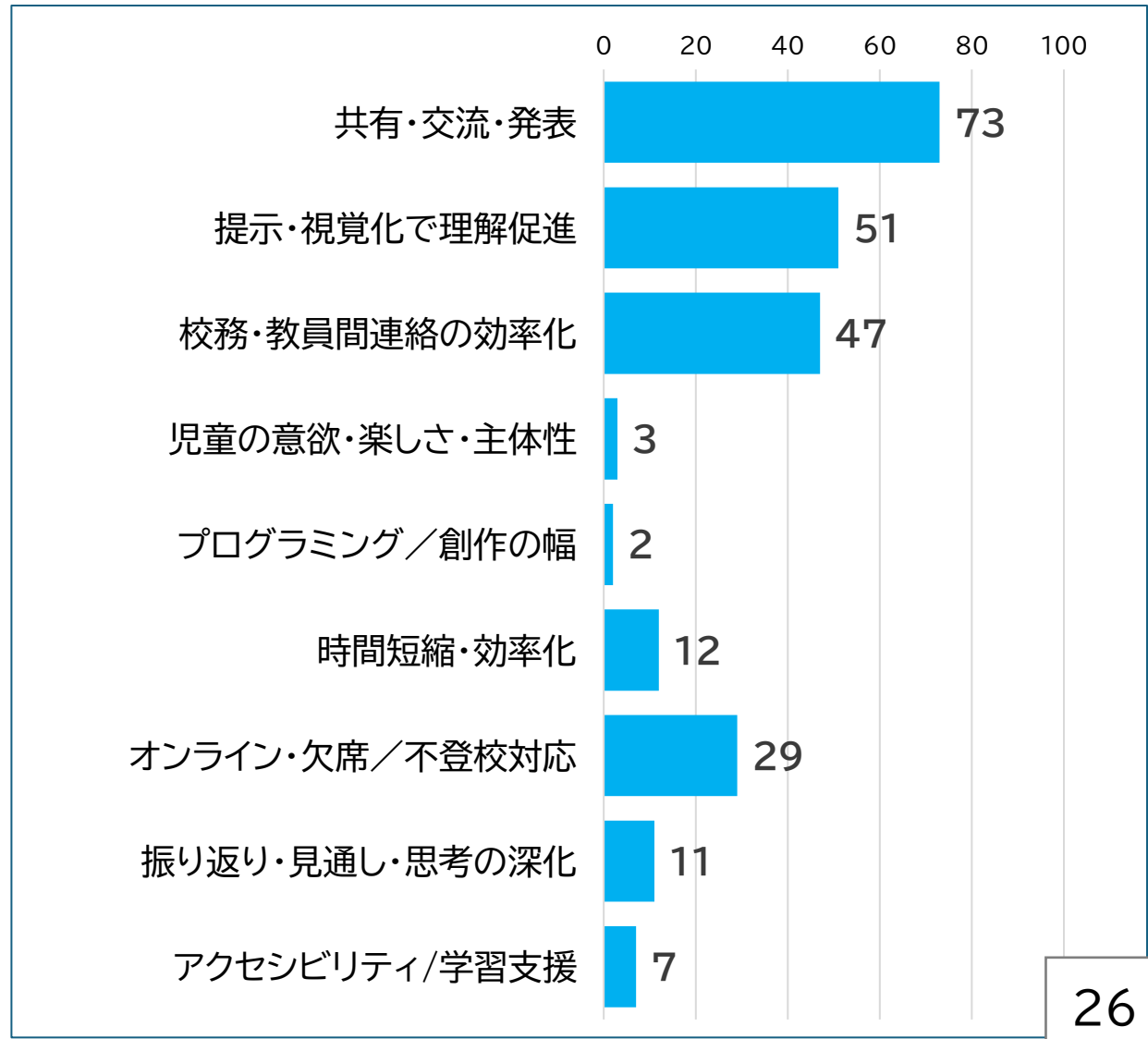


端末が導入されて感じる児童生徒の変化【自由記述～良かった点～】（端末への意識）

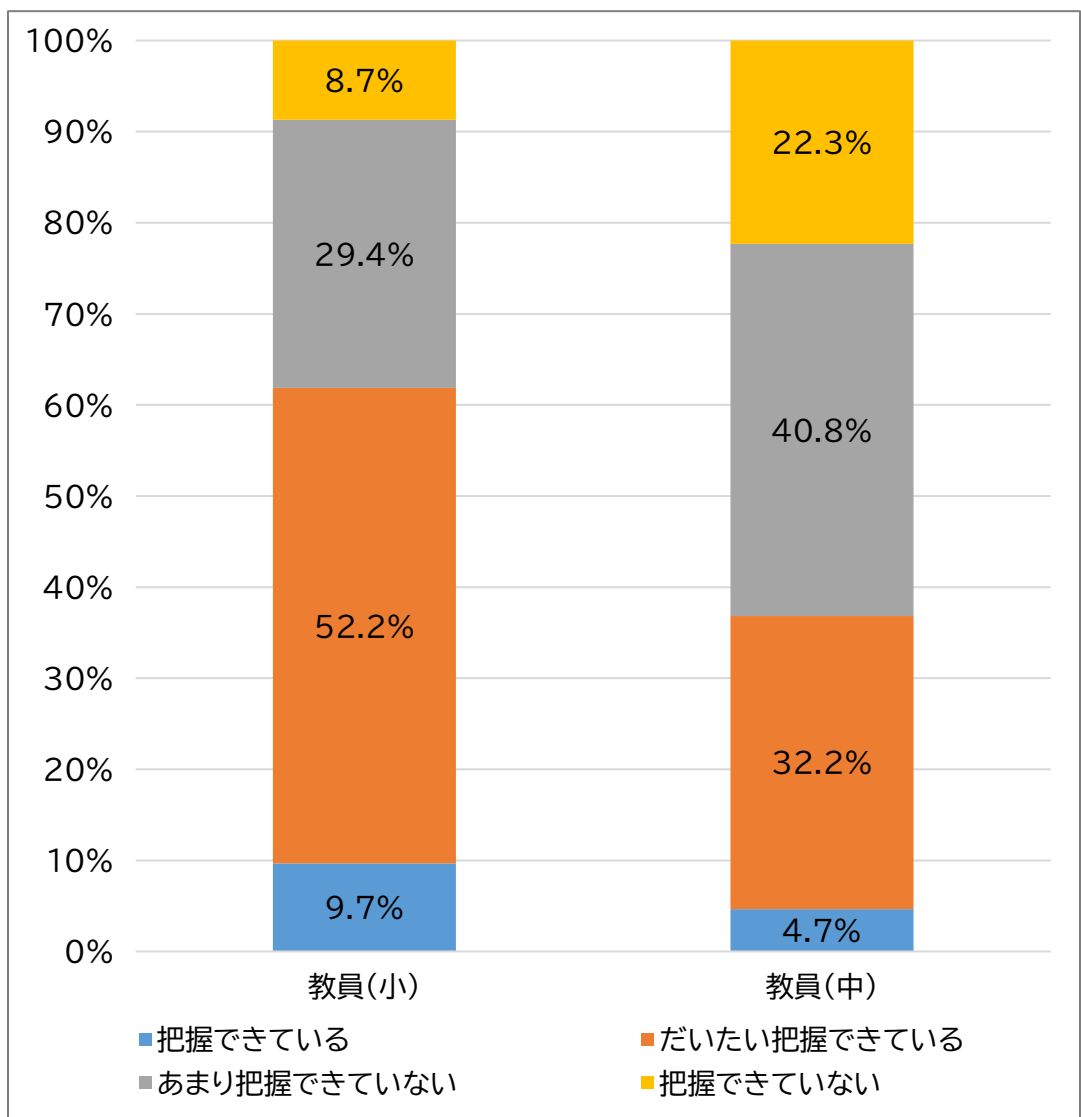
回答記述内容項目(小学校教員) n=341/1,573



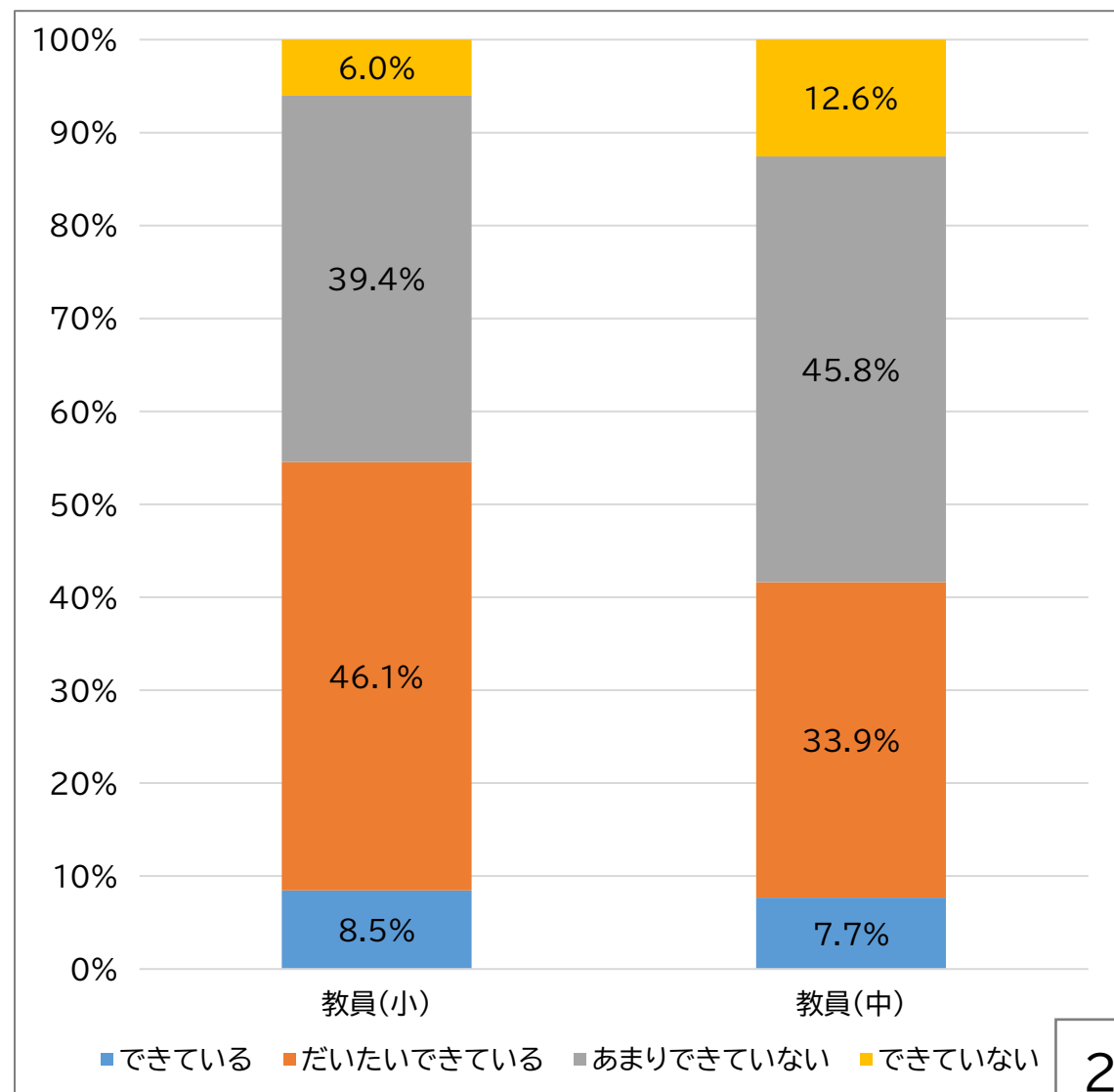
回答記述内容項目(中学校教員) n=235/923



Q.児童の学習状況、理解度を把握していますか

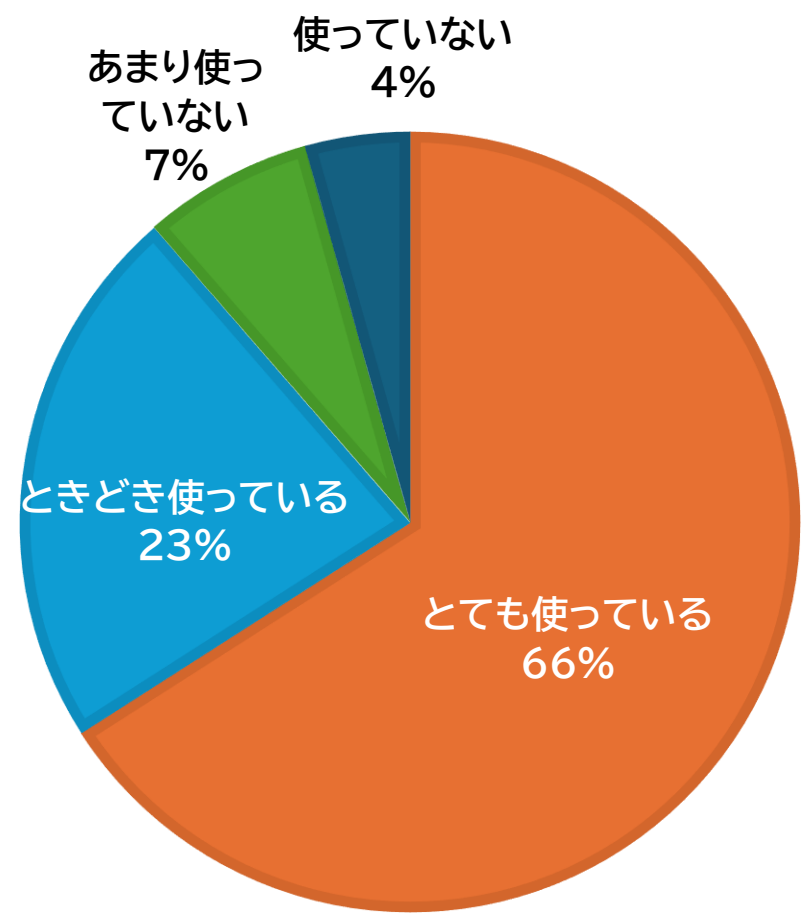


Q.児童の学習状況から、それぞれに応じた学習課題を設定していますか

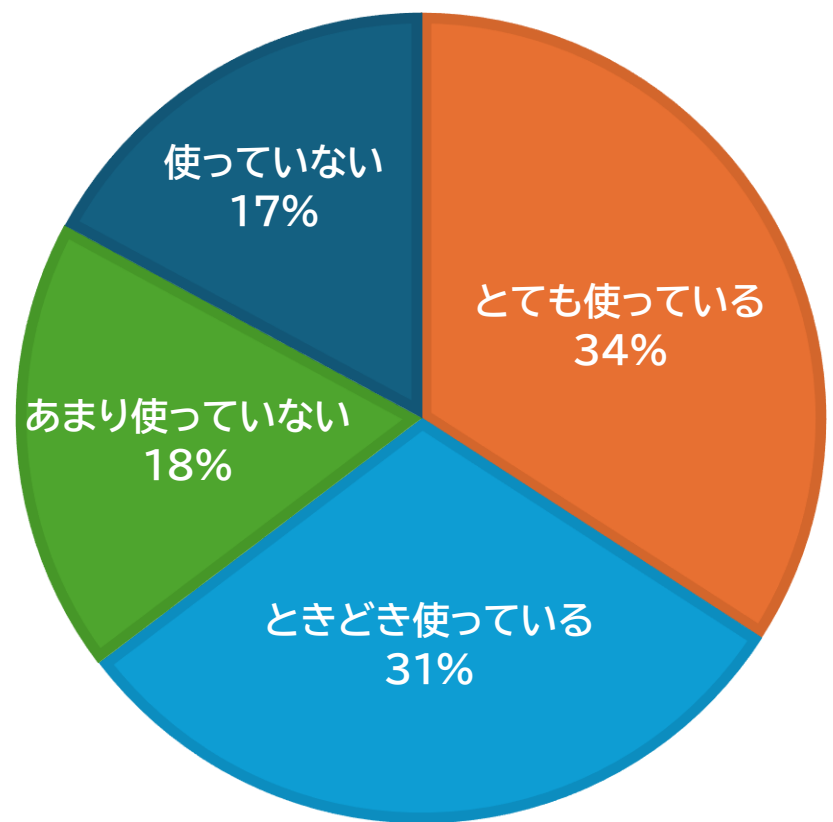


Q.指導者用デジタル教科書を使用したことがありますか

小学校教員 n=1,573

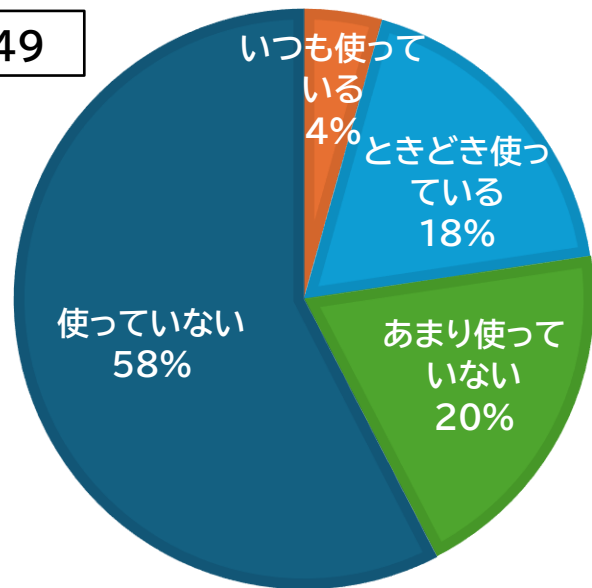


中学校教員 n=923

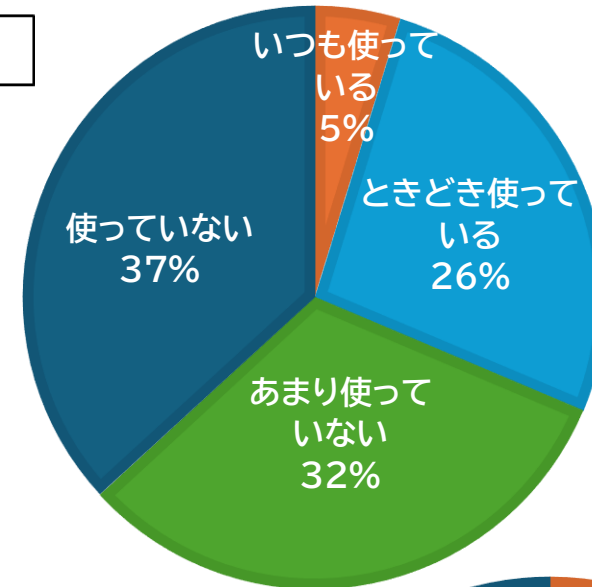


Q.外国語のデジタル教科書を使用した(使用させた)ことがありますか

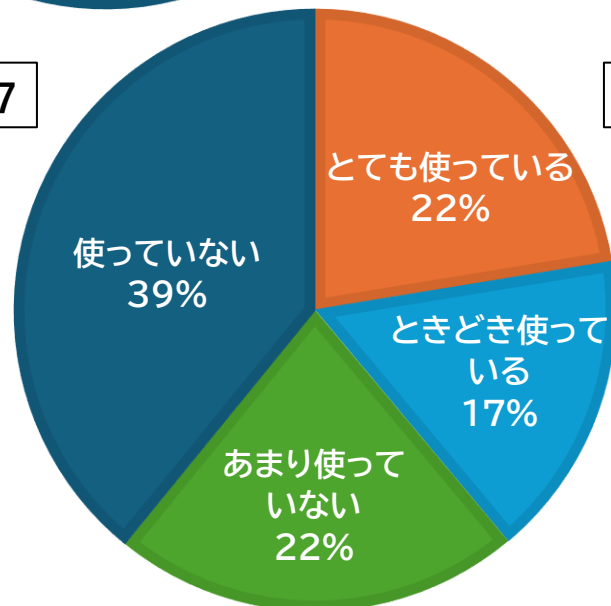
小学3～6年生 n=18,449



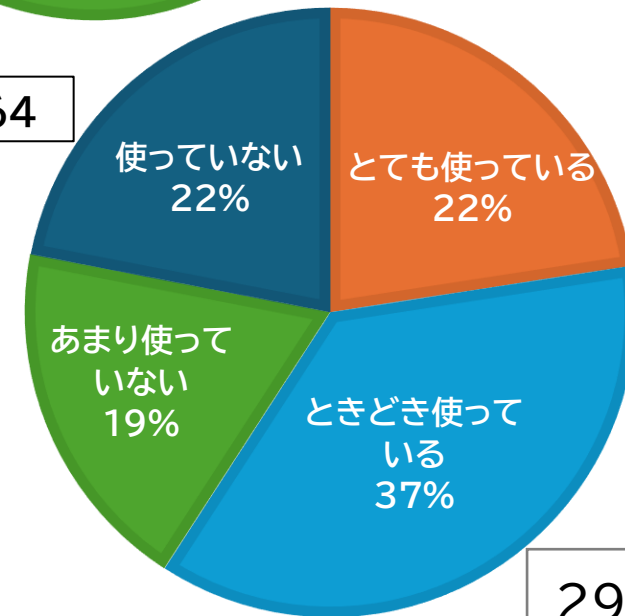
中学生 n=13,818



外国語を担当している小学校教員 n=437

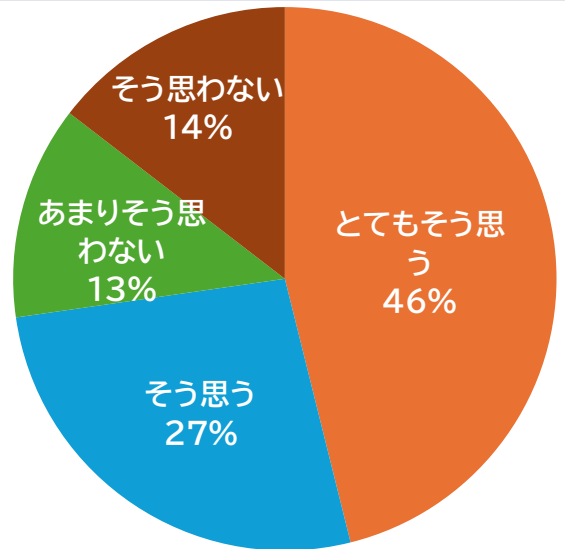


外国語を担当している中学校教員 n=164

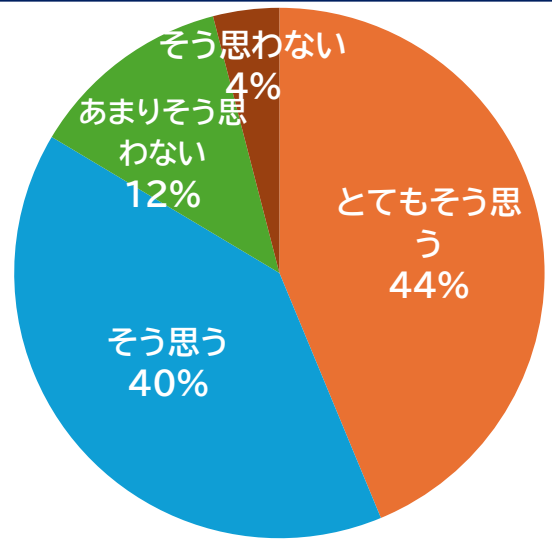


Q.プログラミングをできると思いますか。また学習にアプリなどを使用しましたか。

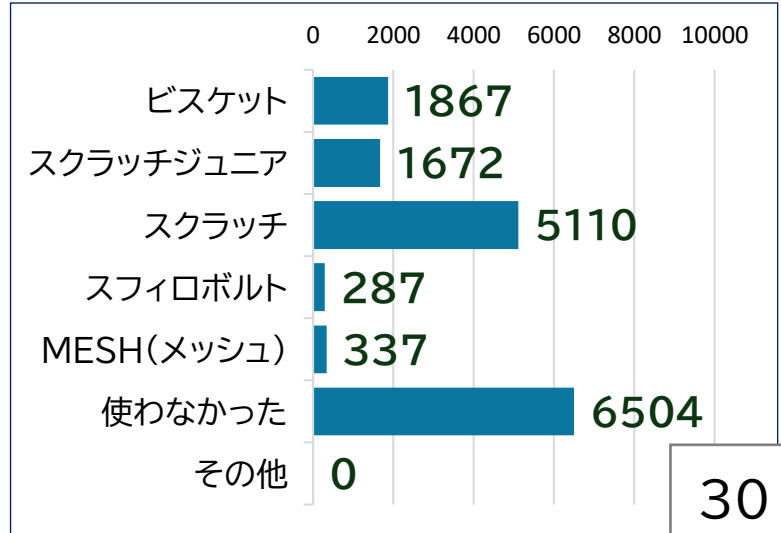
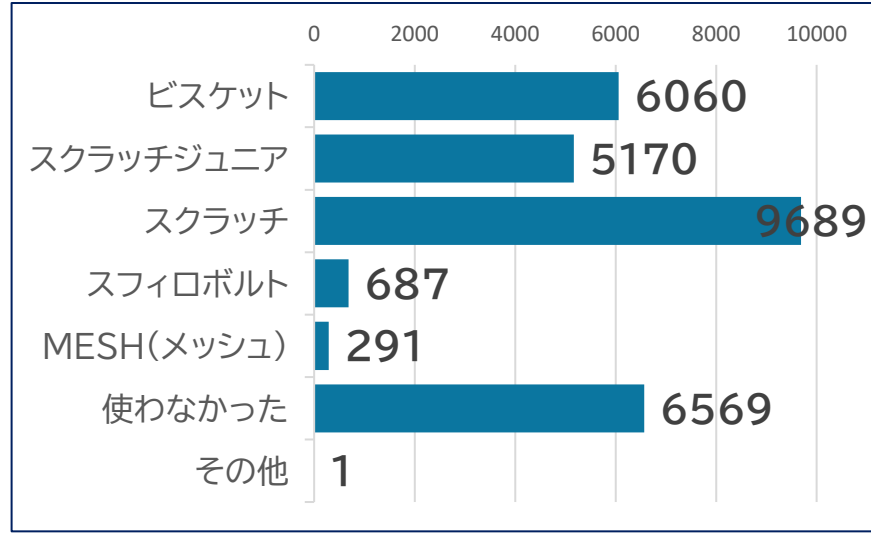
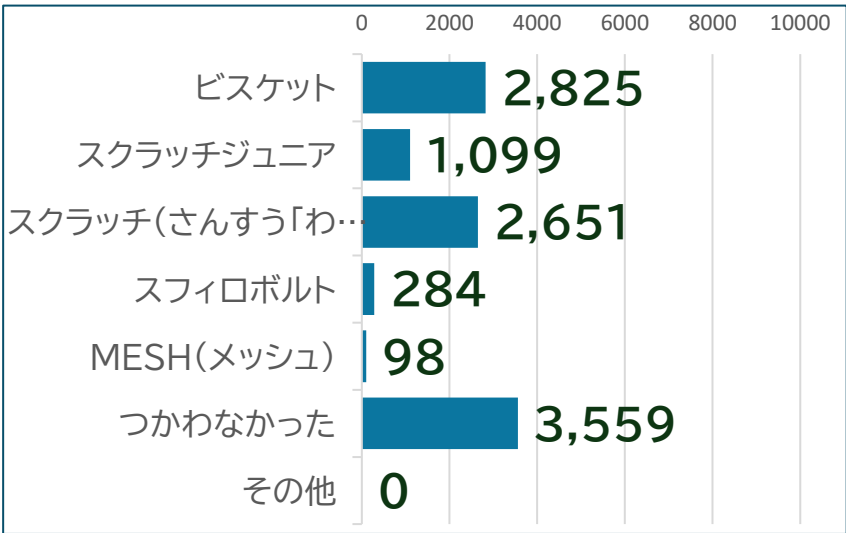
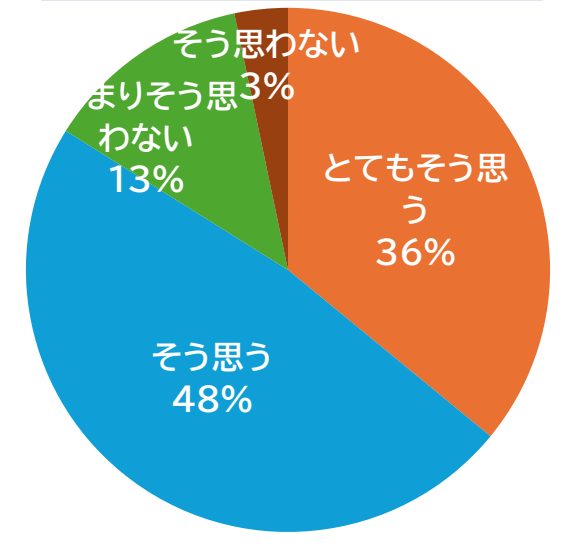
小学校1～2年生児童(n=9,085)



小学校3～6年生児童(n=18,449)

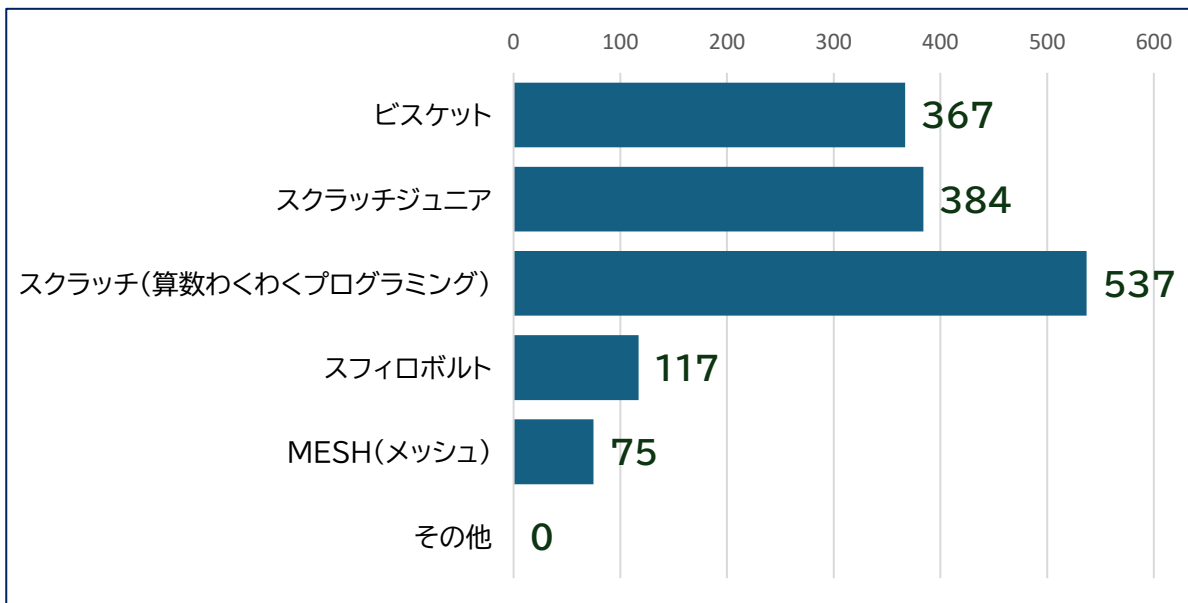
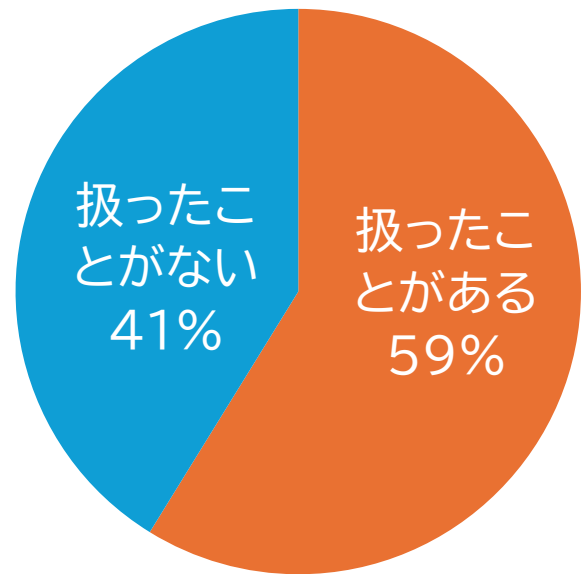


中学校生徒(n=13,818)

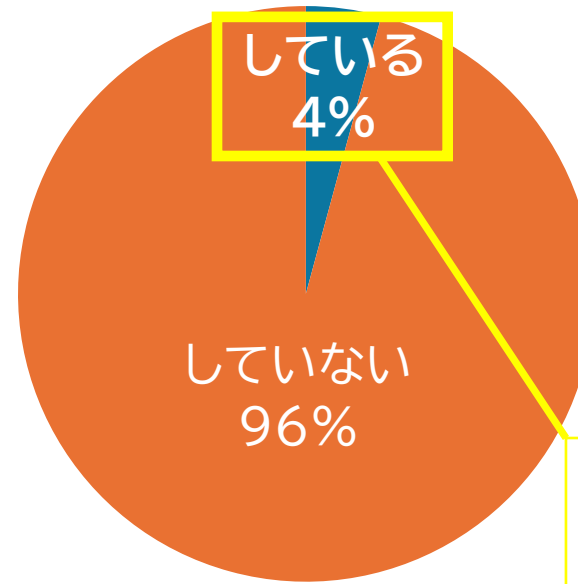


学校での活用 (プログラミング)

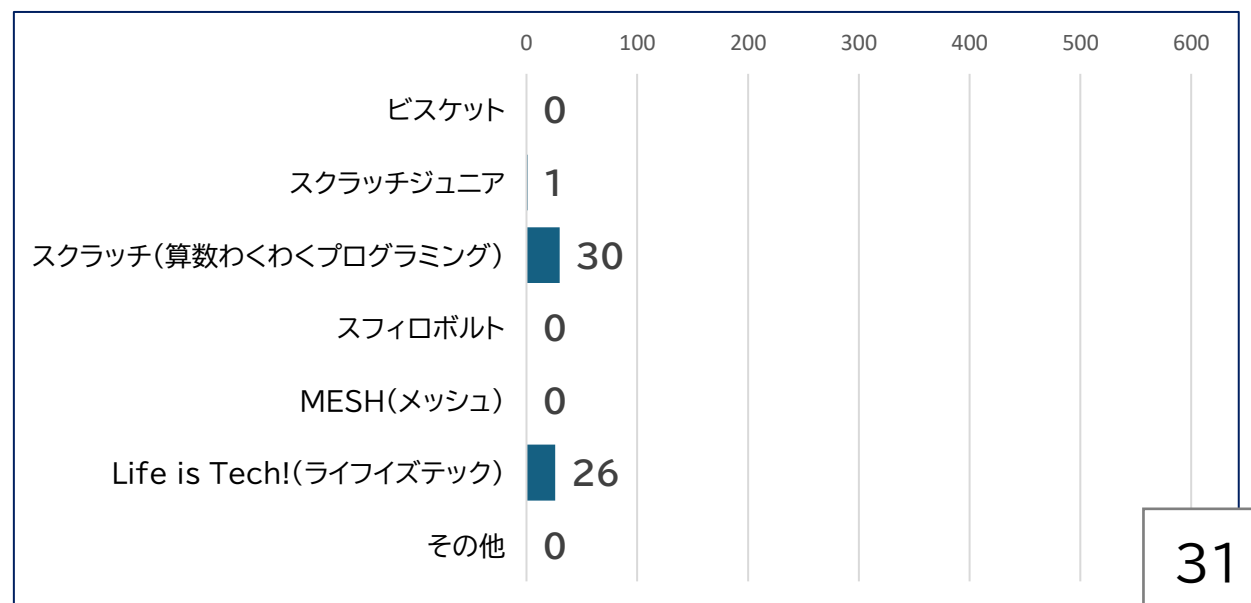
小学校教員 n=1,573



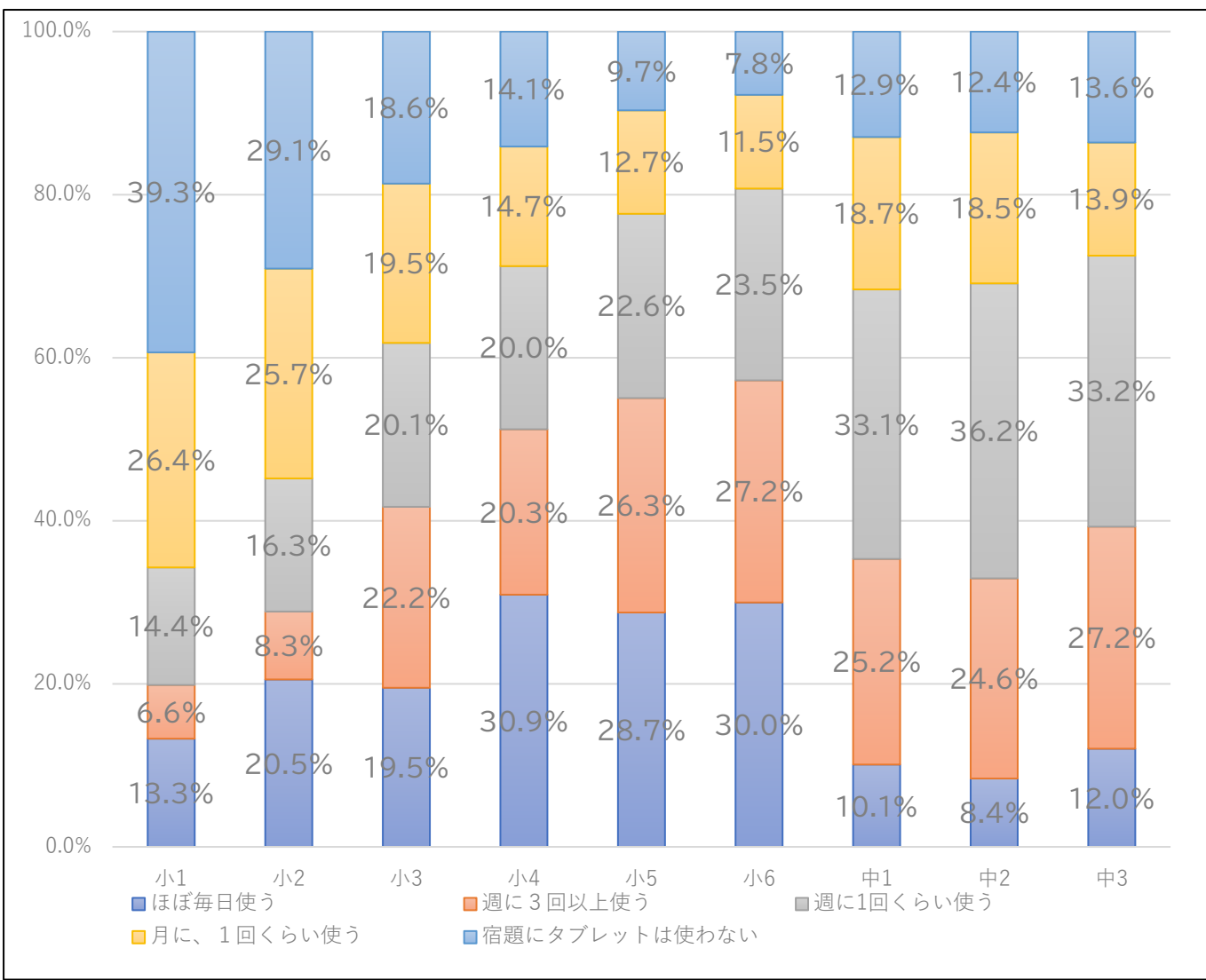
中学校教員 n=923



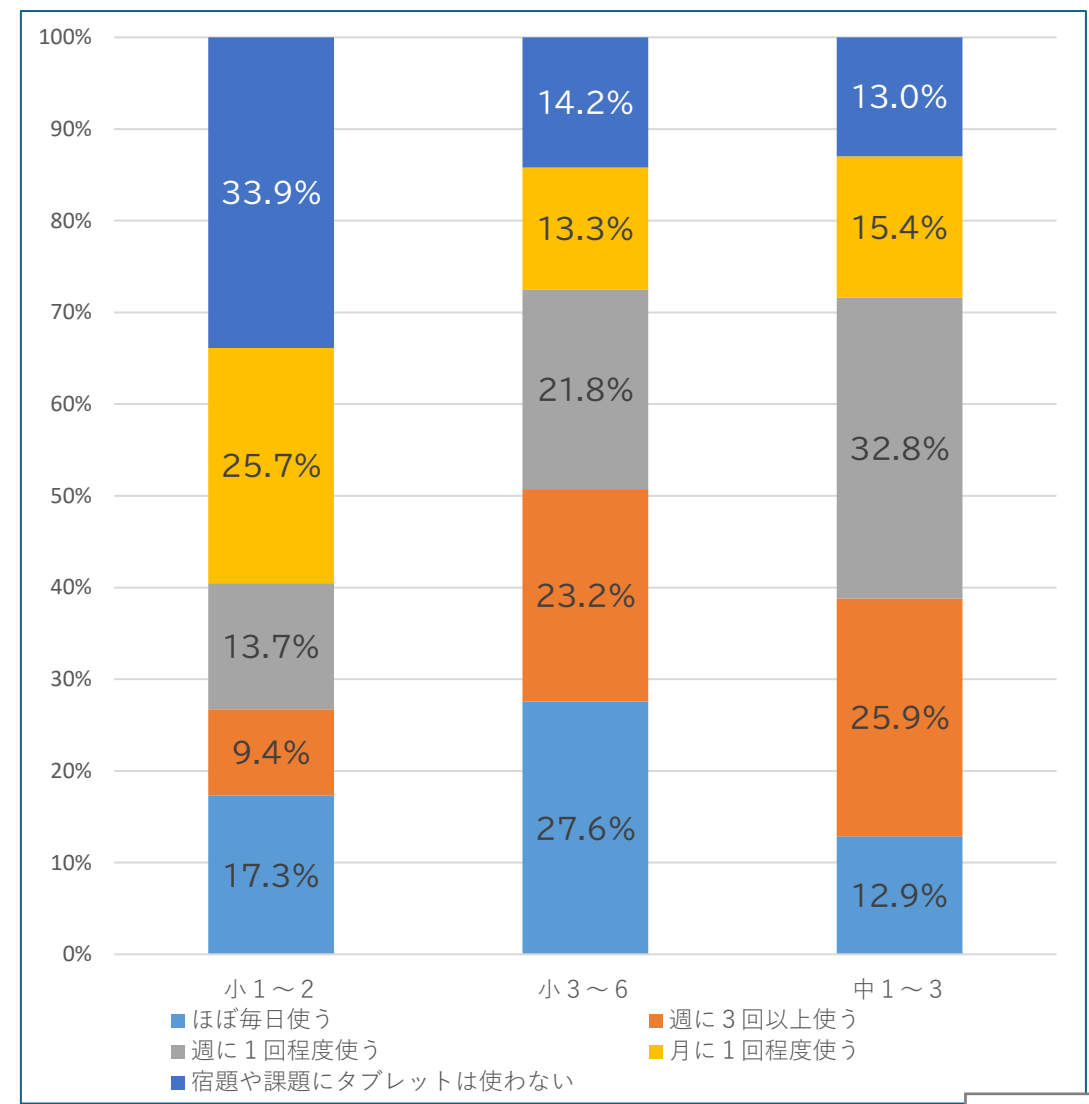
※中学校のプログラミングは技術のみで行われるため、4%は、技術科教員



Q.家庭で、宿題や課題にタブレットを活用する回数は何回くらいありますか



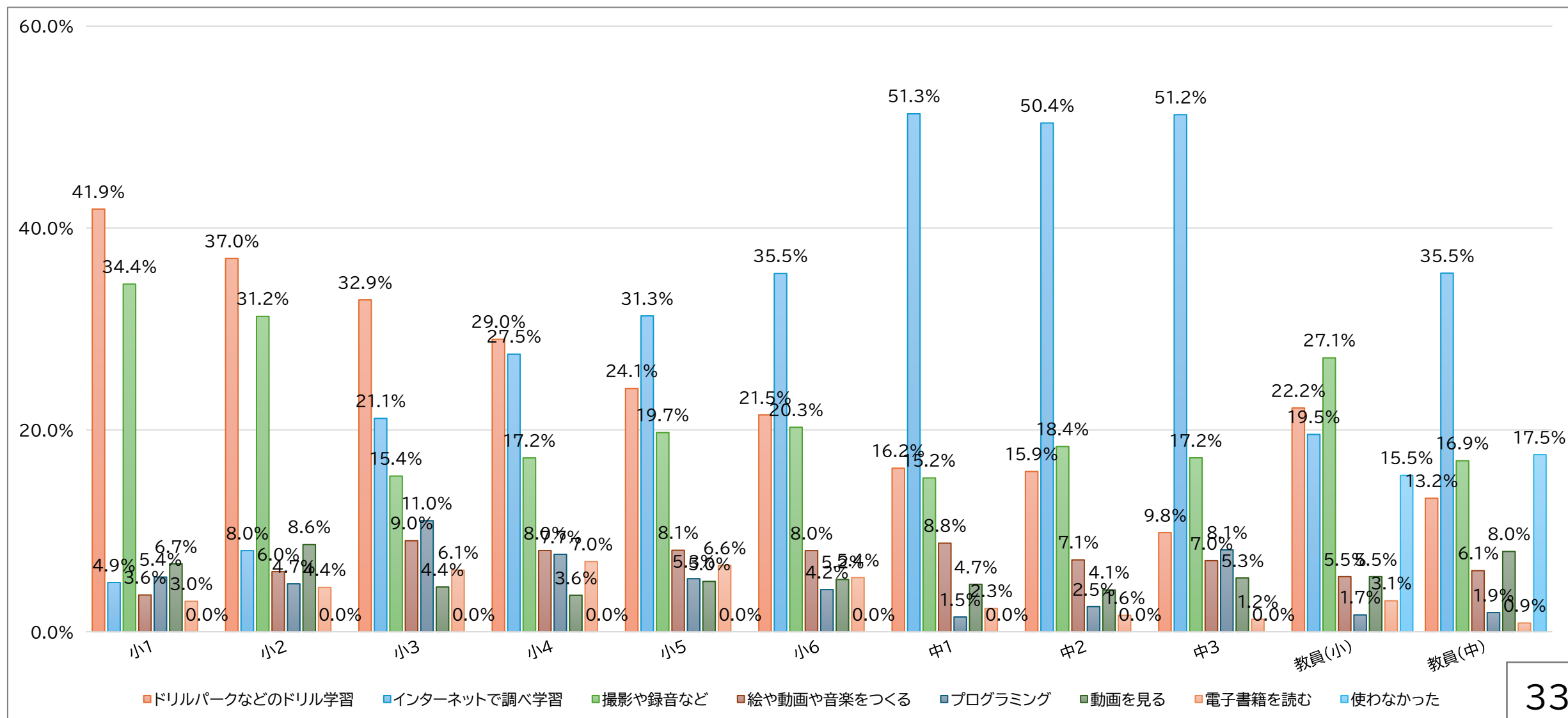
令和6年度



令和7年度

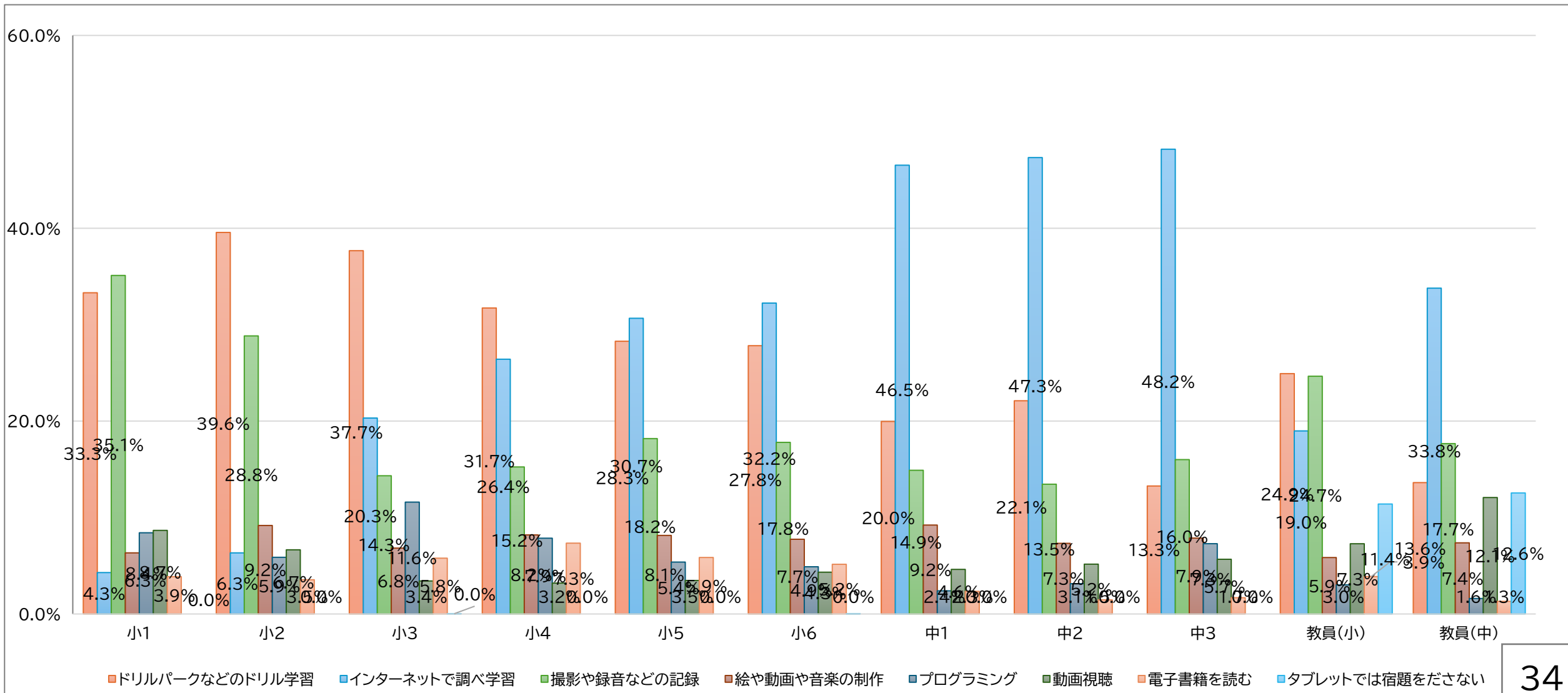
Q.学校からの宿題や課題で、どのような場面でタブレットを活用していますか

令和6年度

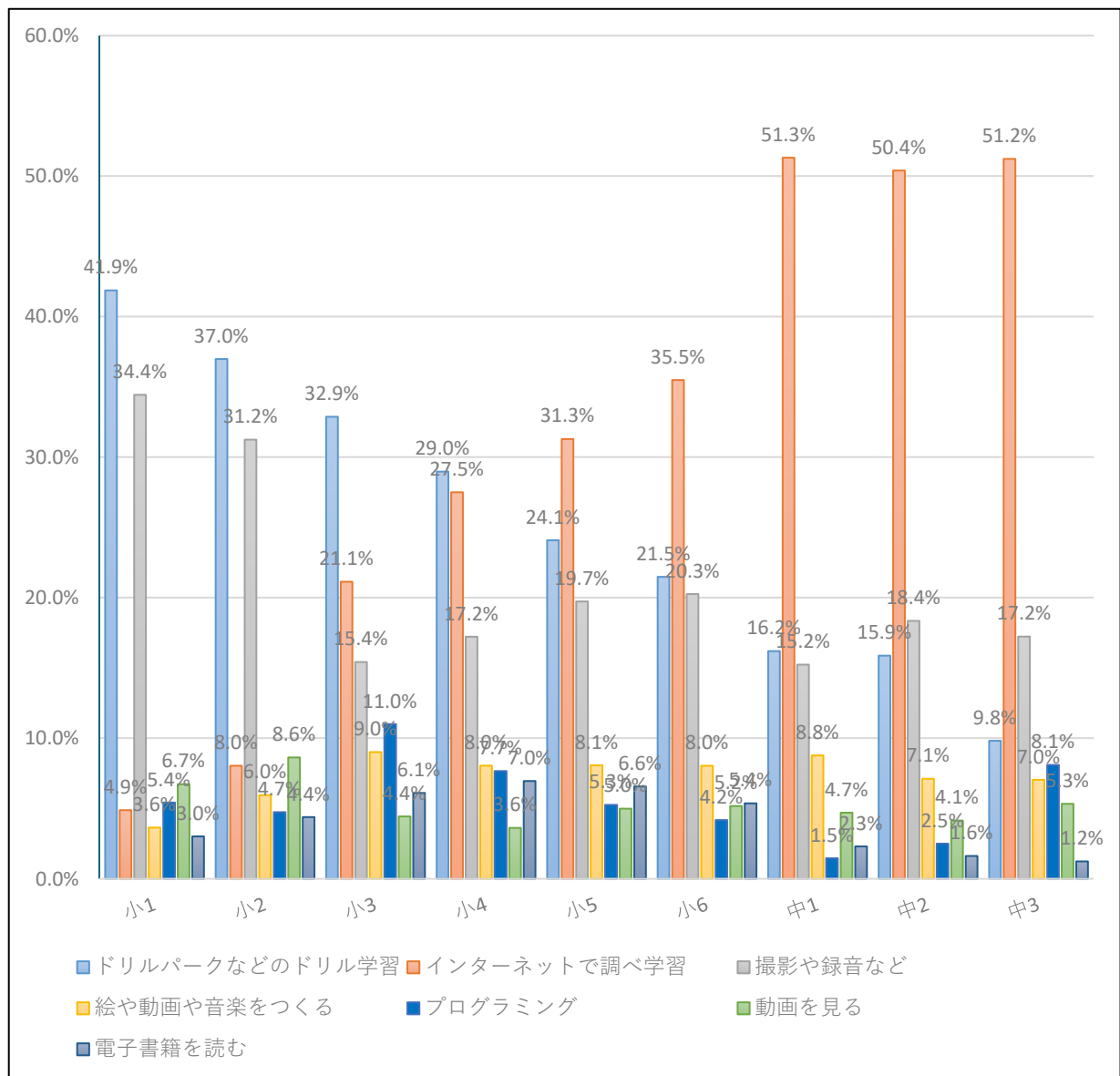


Q.学校からの宿題や課題で、どのような場面でタブレットを活用していますか

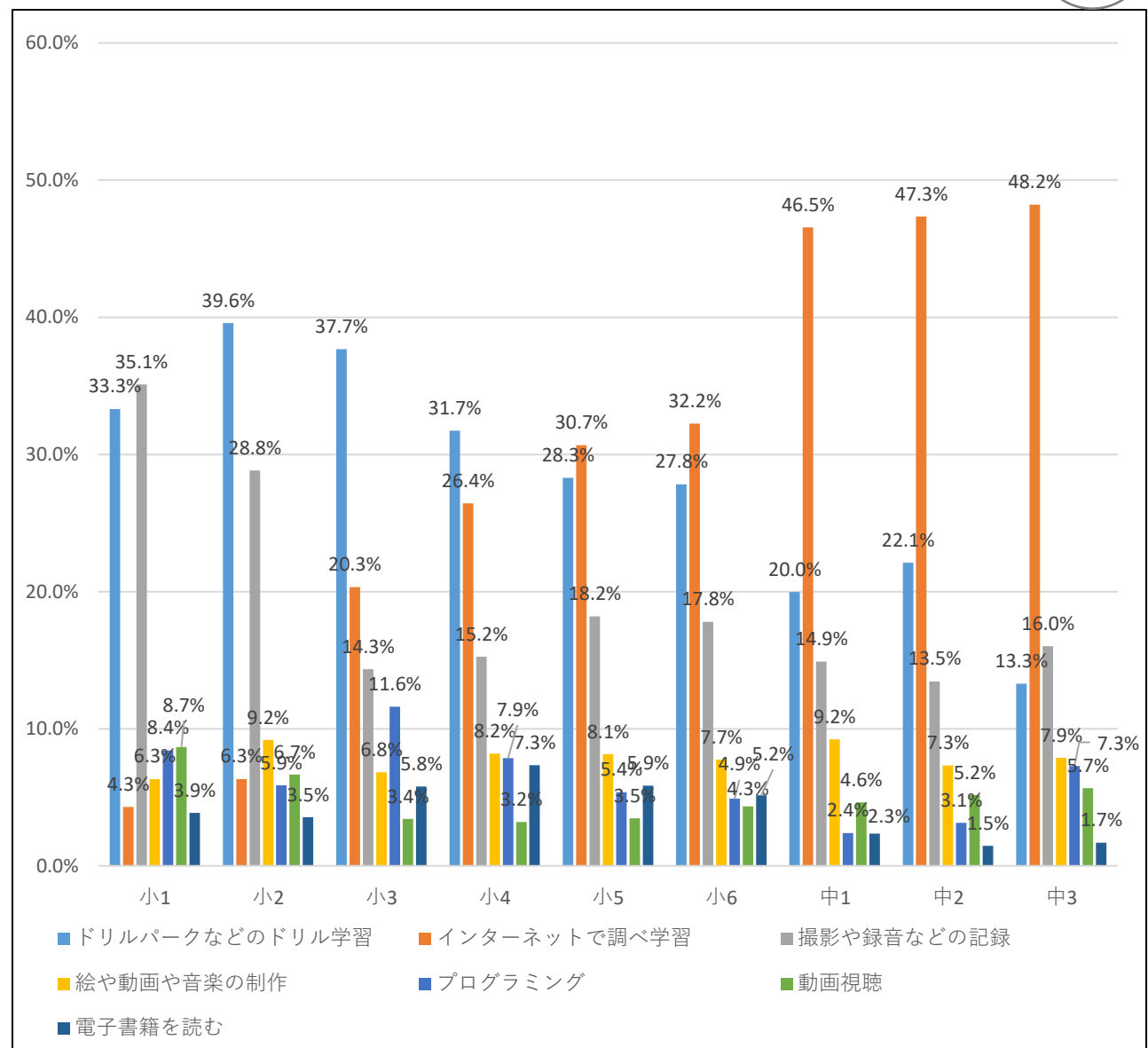
令和7年度



学校からの宿題や課題で、どのような場面でタブレットを活用していますか

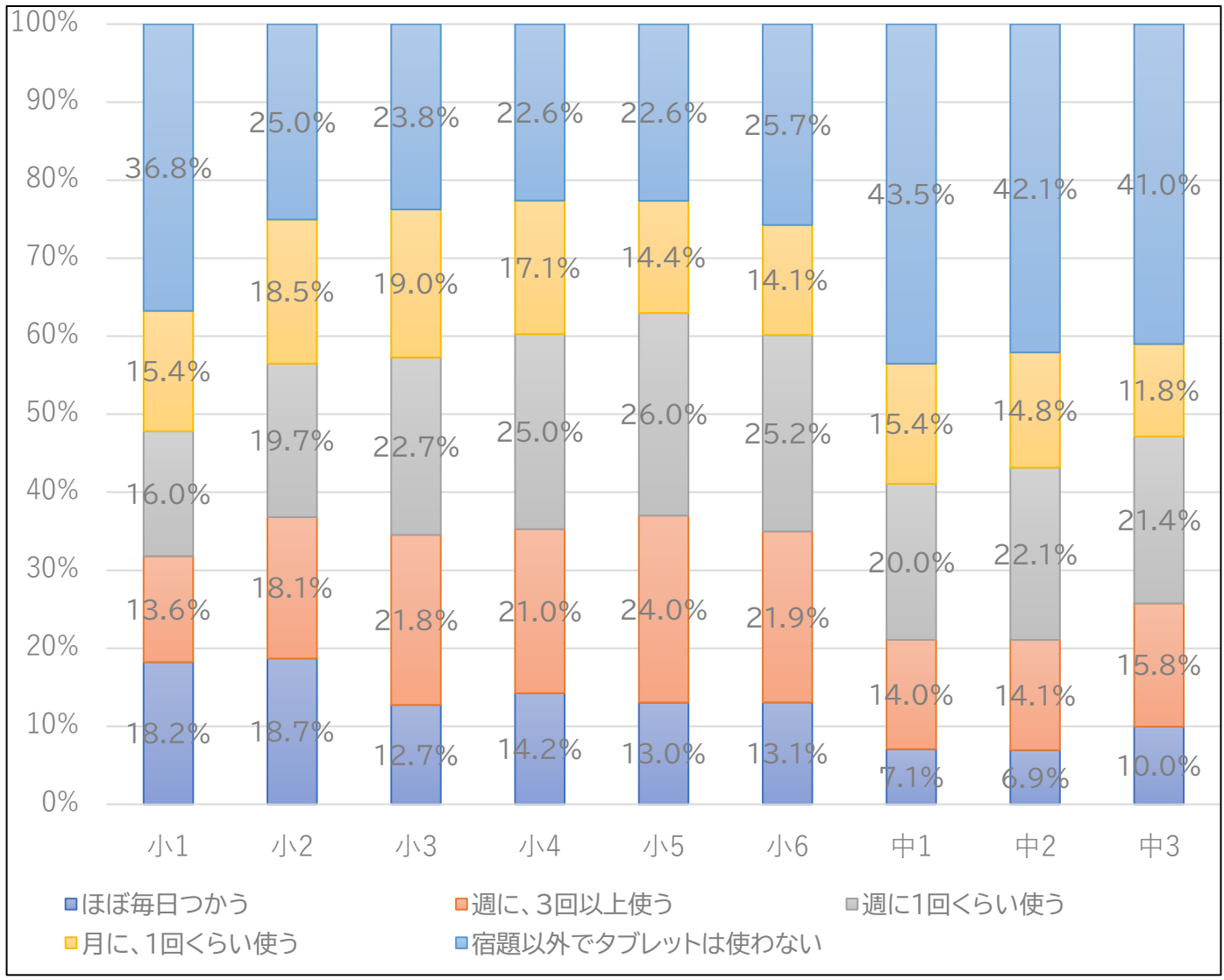


令和6年度

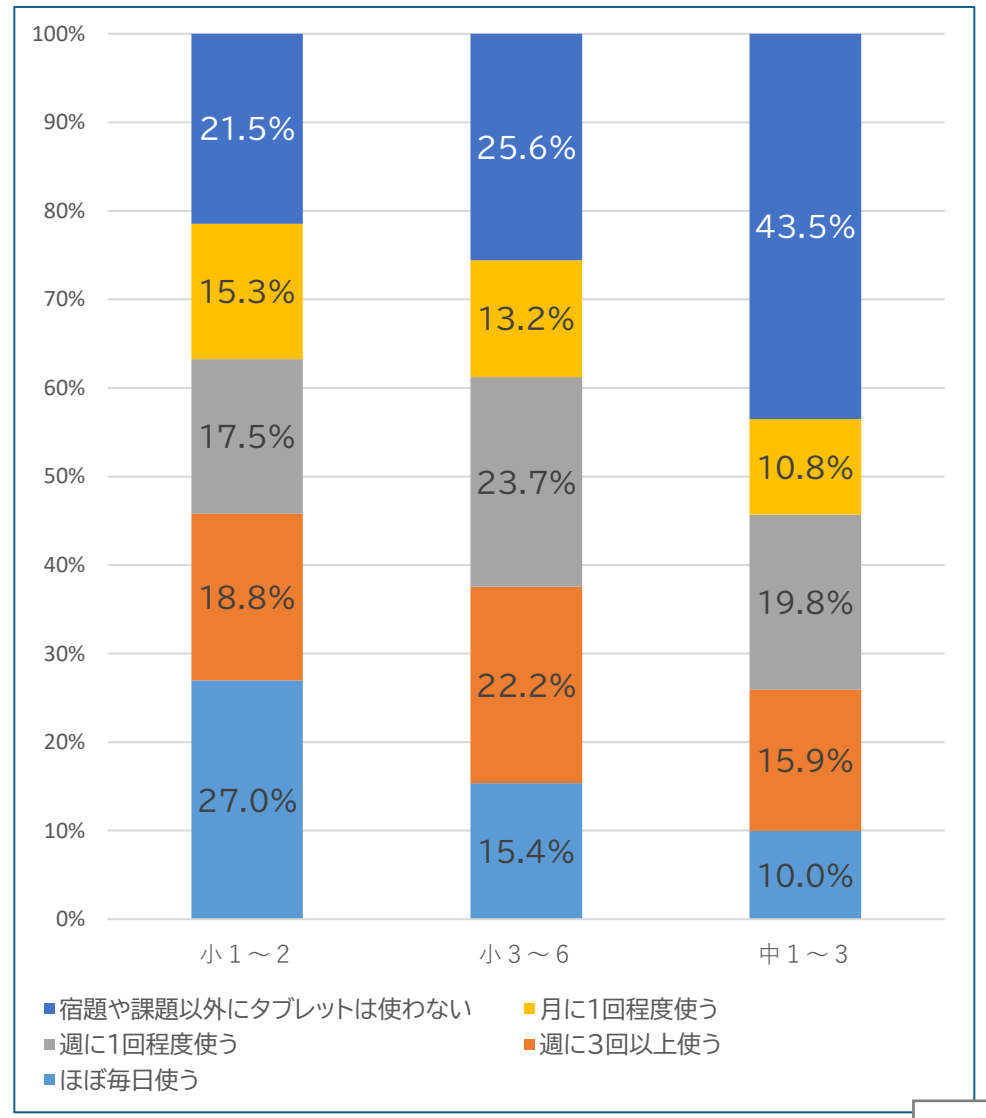


令和7年度

Q.家庭で、宿題や課題以外にタブレットを活用する回数は何回くらいありますか

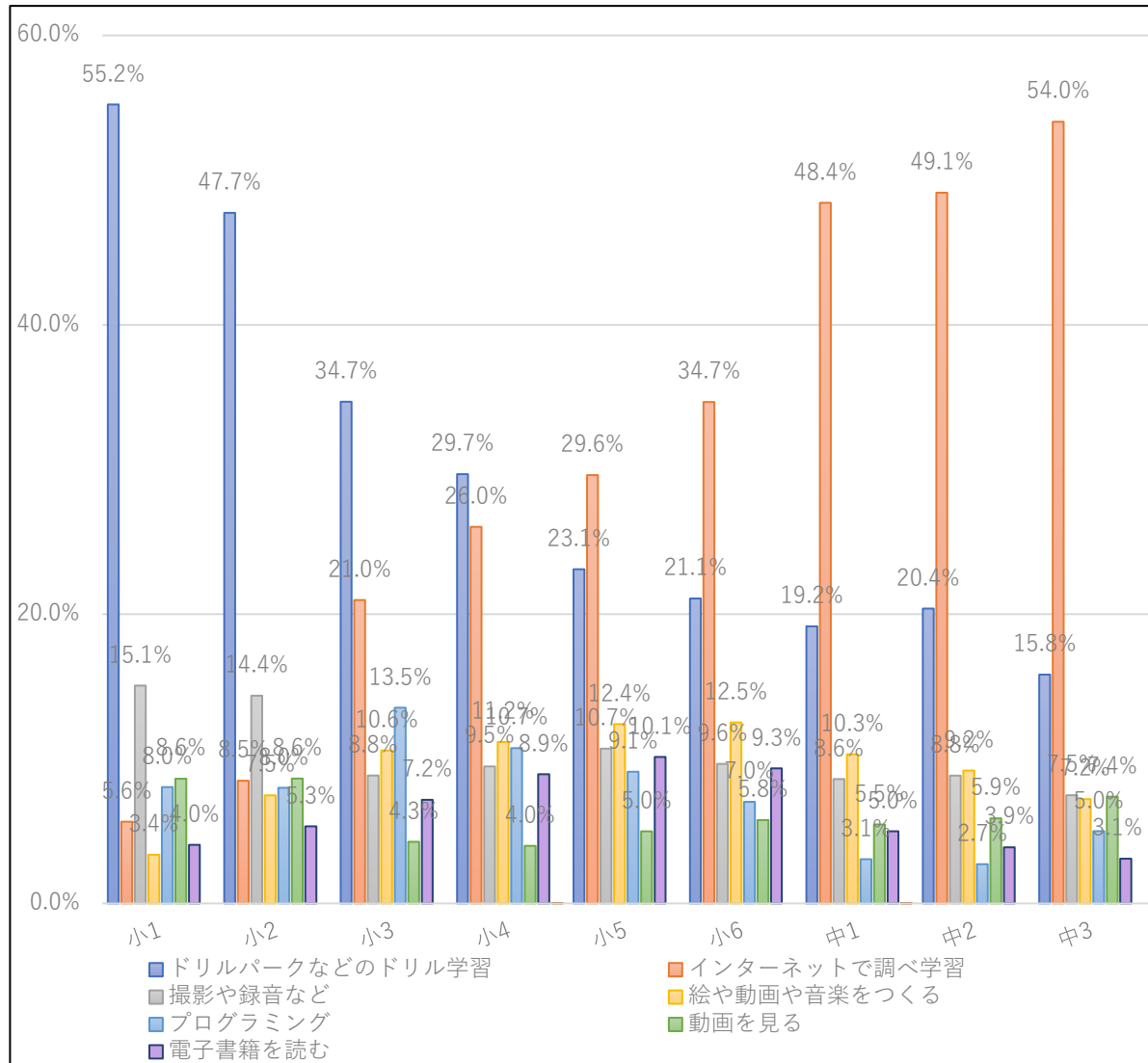


令和6年度

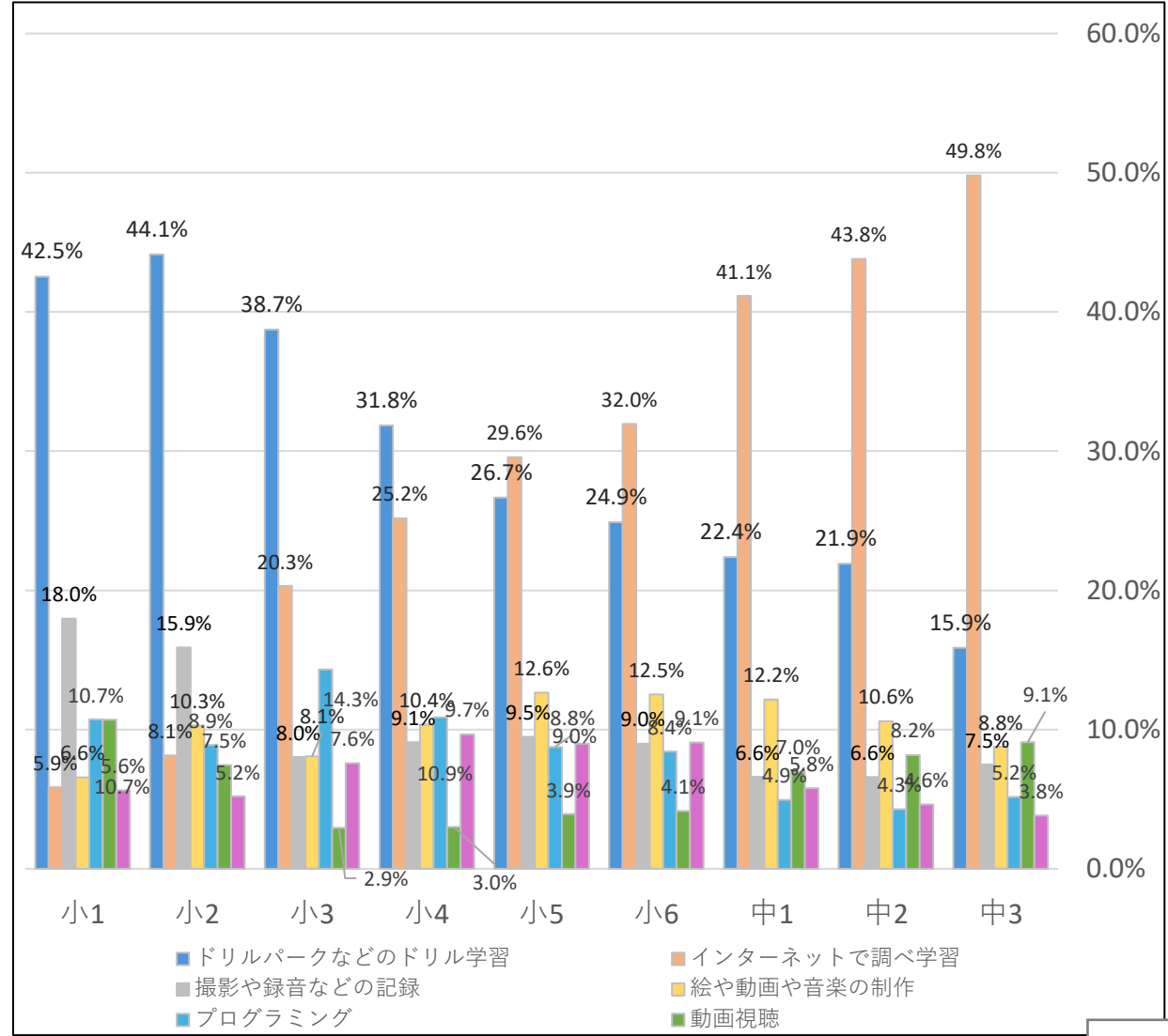


令和7年度

Q.学校からの宿題や課題以外で、どのような場面でタブレットを活用していますか



令和6年度



令和7年度

端末の取扱い（学校用端末の使用内容と使用時間）

小学1～2年生 n=9,085

学校のある日（平日）、学校のタブレットをどのくらい使っていますか

■ まったくつかっていない
 ■ 1時間みまん
 ■ 1～3時間ていど
 ■ 3～5時間ていど
 ■ 5～7時間ていど
 ■ 7時間いじょう

ゲーム（タイピングやプログラミング等）



なにかのやり方を学ぶためにしらべたり、どうがをみる



絵やどうが、音楽、プログラムなどをつくる



小学1～2年生 n=9,085

学校のない日（休日）、学校のタブレットをどのくらい使っていますか

■ まったくつかっていない
 ■ 1時間みまん
 ■ 1～3時間ていど
 ■ 3～5時間ていど
 ■ 5～7時間ていど
 ■ 7時間いじょう

ゲーム（タイピングやプログラミング等）



なにかのやり方を学ぶためにしらべたり、どうがをみる



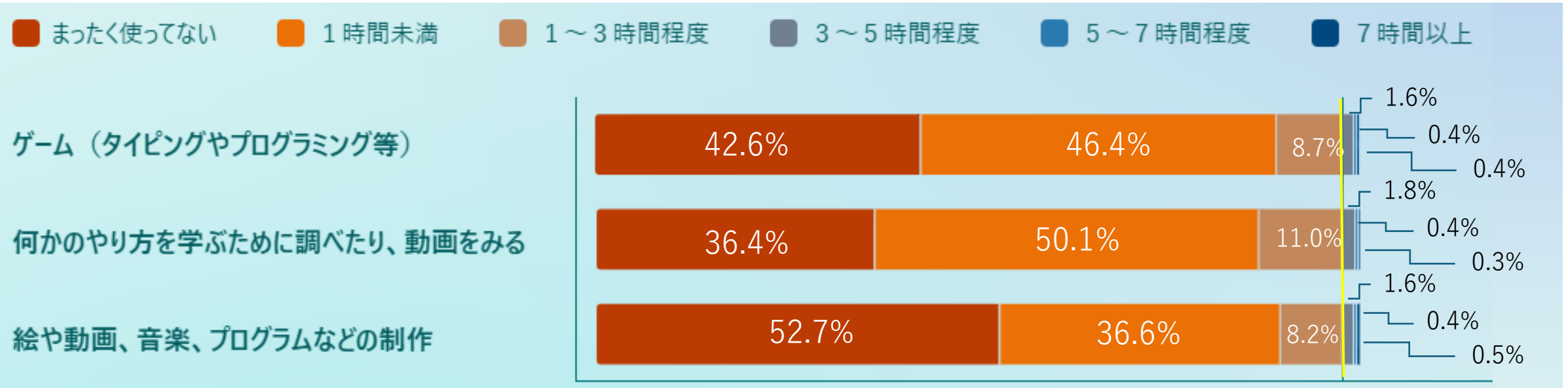
絵やどうが、音楽、プログラムなどをつくる



端末の取扱い（学校用端末の使用内容と使用時間）

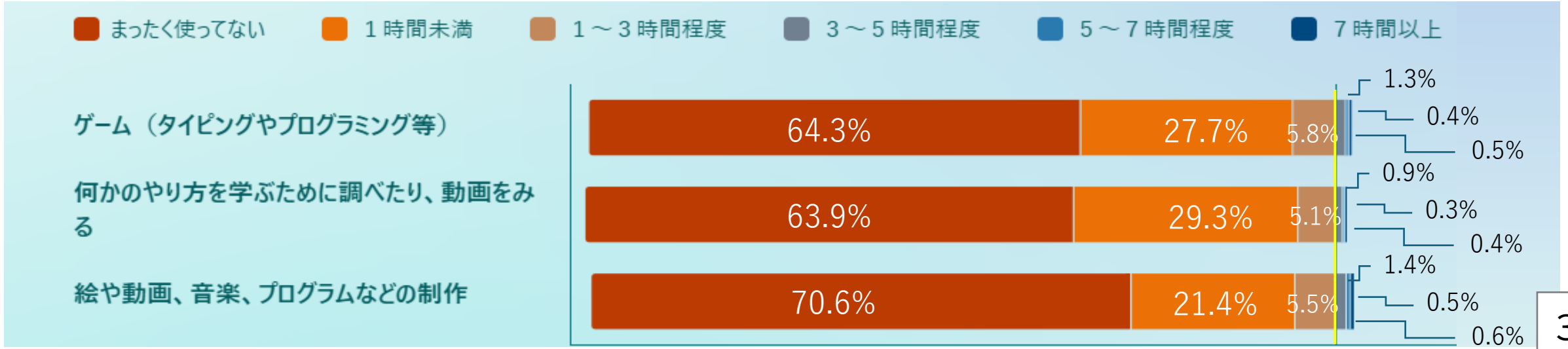
小学3～6年生 n=18,449

学校のある日（平日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか



小学3～6年生 n=18,449

学校のない日（休日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか



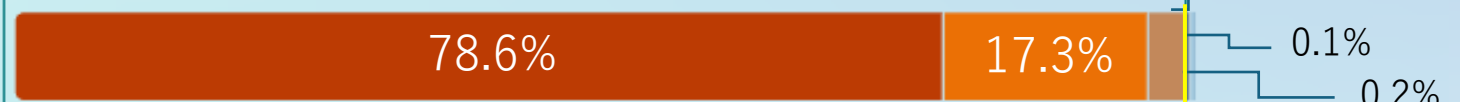
端末の取扱い（学校用端末の使用内容と使用時間）

中学生n=13,128

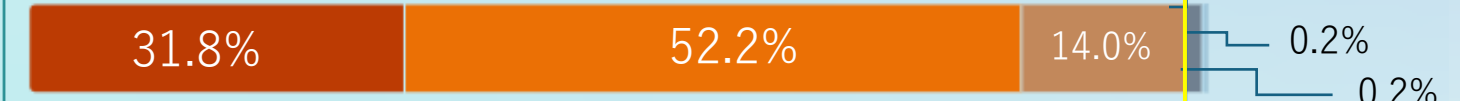
学校のある日（平日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか

■ まったく使ってない
 ■ 1時間未満
 ■ 1～3時間程度
 ■ 3～5時間程度
 ■ 5～7時間程度
 ■ 7時間以上

ゲーム（タイピングやプログラミング等）



何かのやり方を学ぶために調べたり、動画を見る



絵や動画、音楽、プログラムなどの制作



中学生n=13,128

学校のない日（休日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか

■ まったく使ってない
 ■ 1時間未満
 ■ 1～3時間程度
 ■ 3～5時間程度
 ■ 5～7時間程度
 ■ 7時間以上

ゲーム（タイピングやプログラミング等）



何かのやり方を学ぶために調べたり、動画を見る

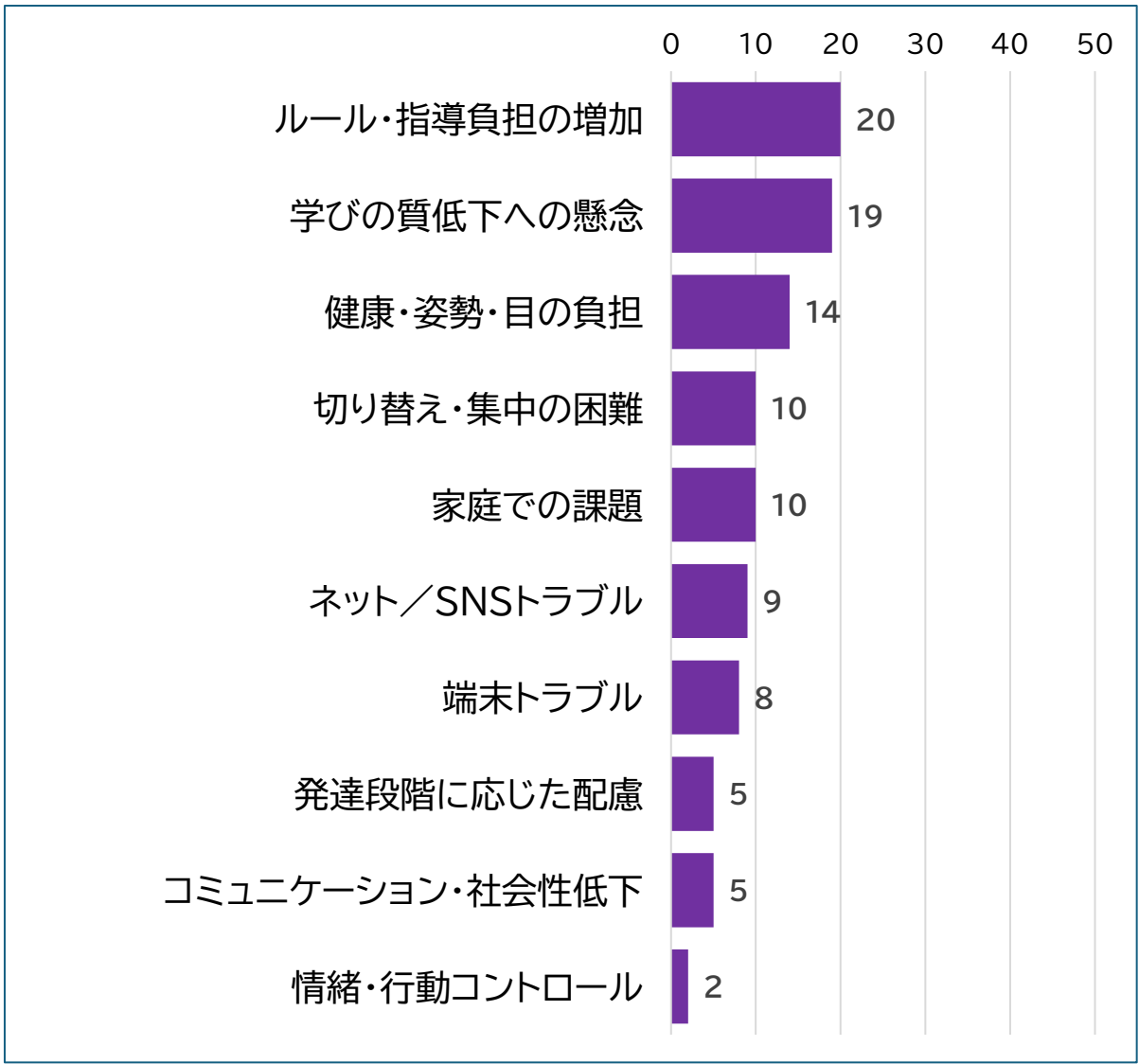


絵や動画、音楽、プログラムなどの制作

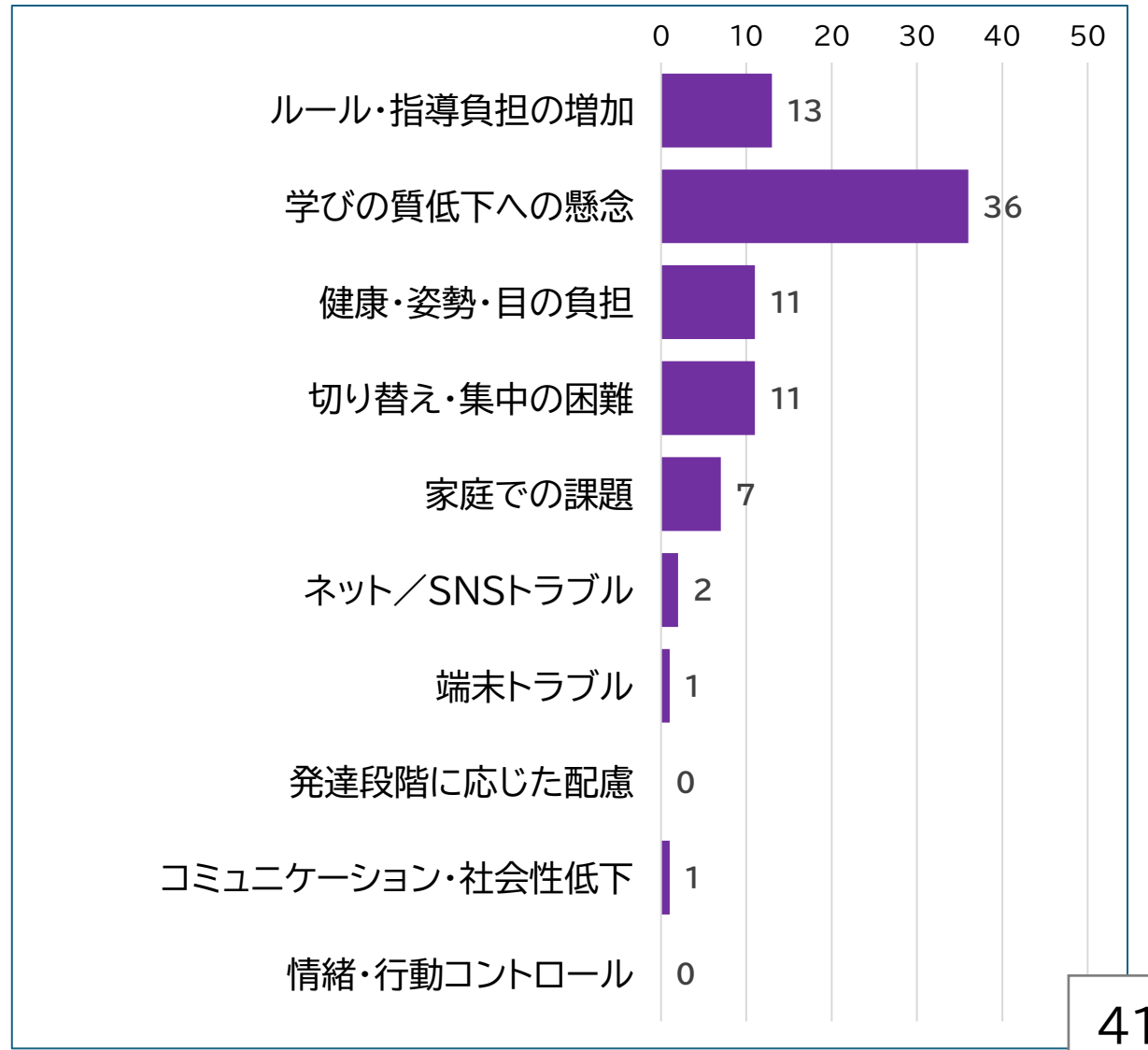


端末への意識（端末が導入されて感じる児童生徒の変化【自由記述～困った点～】）

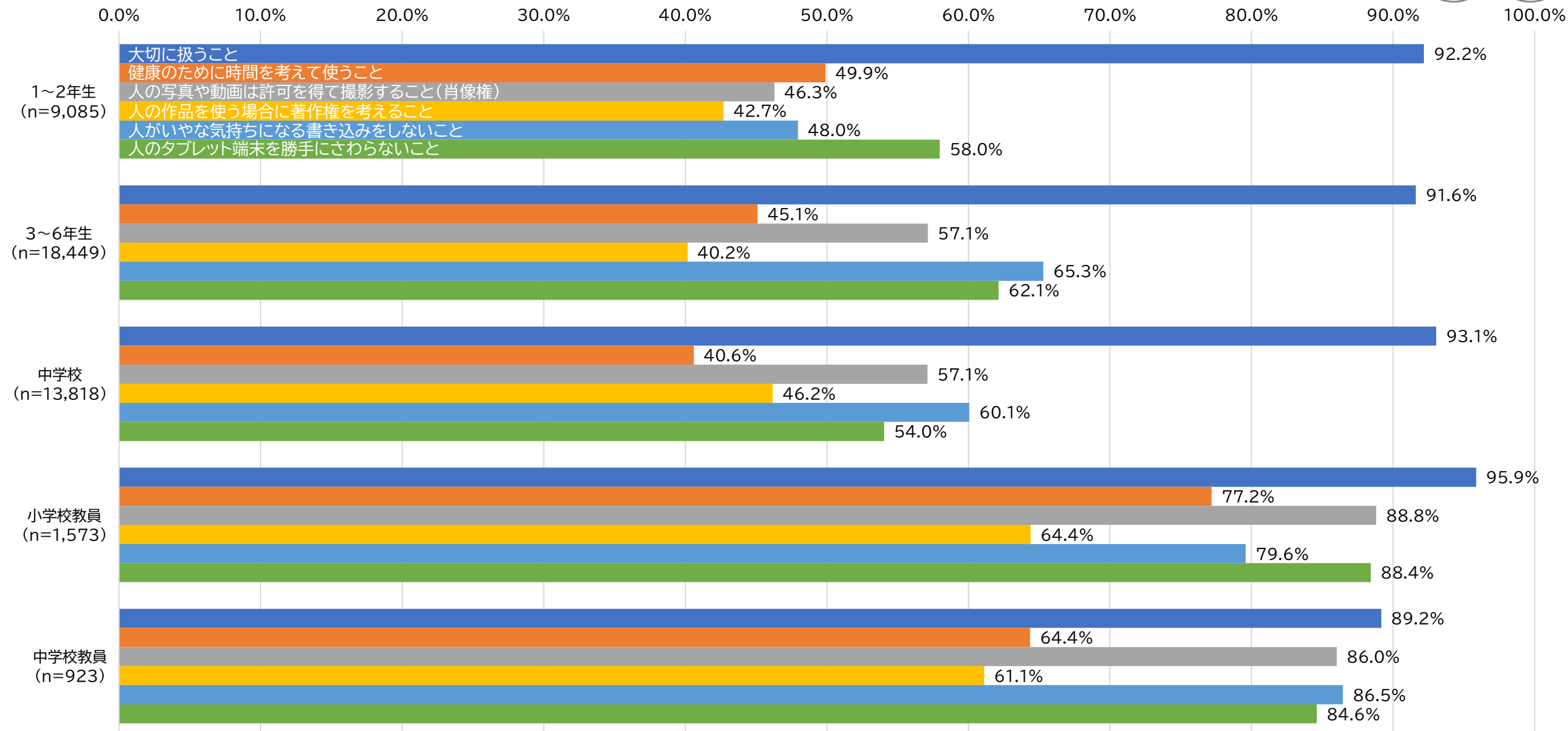
回答記述内容項目(小学校教員) n=102 /1,573



回答記述内容項目(中学校教員) n=82/923

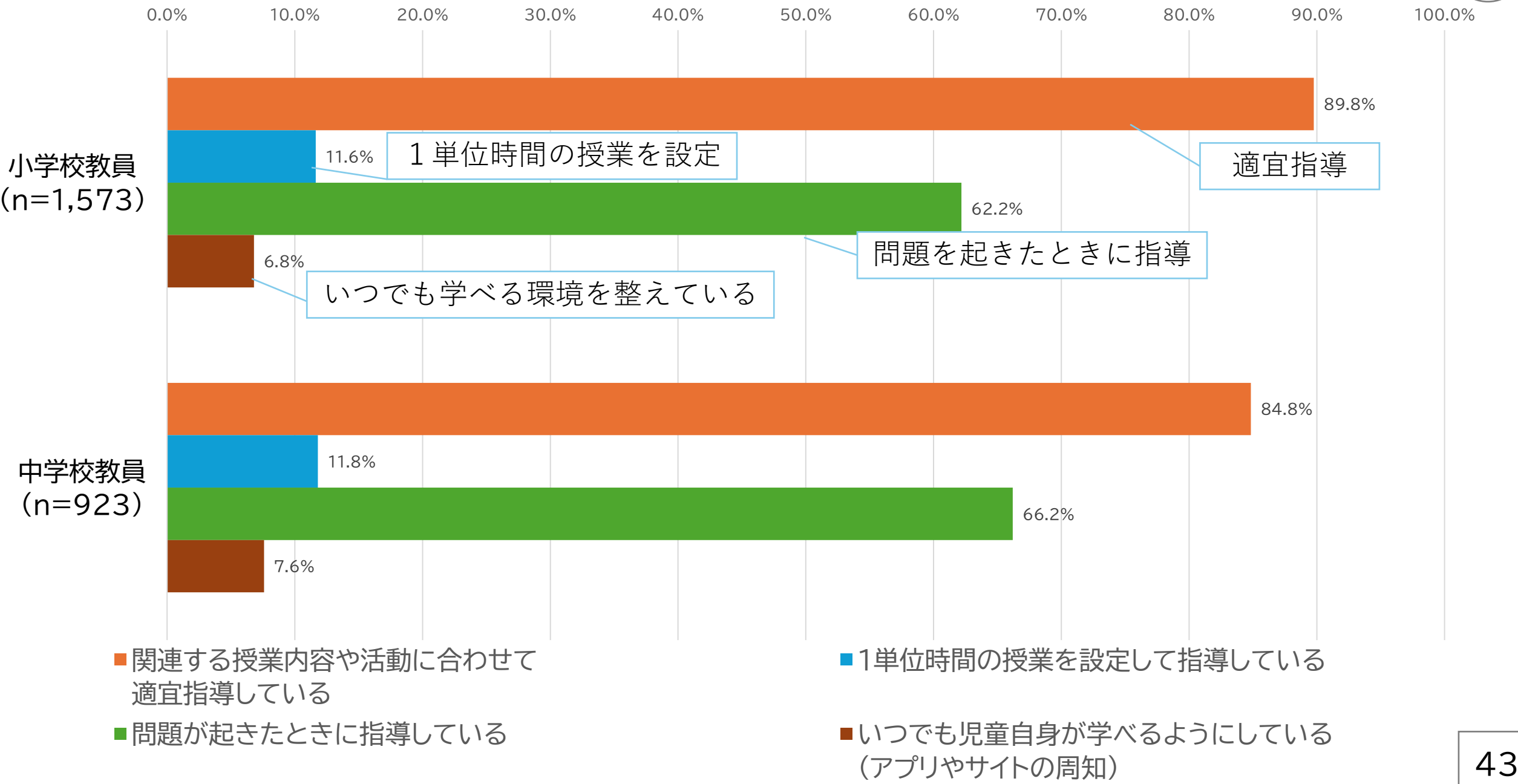


端末の取扱い（どのようなことに気を付けているか・指導しているか） ※複数回答可



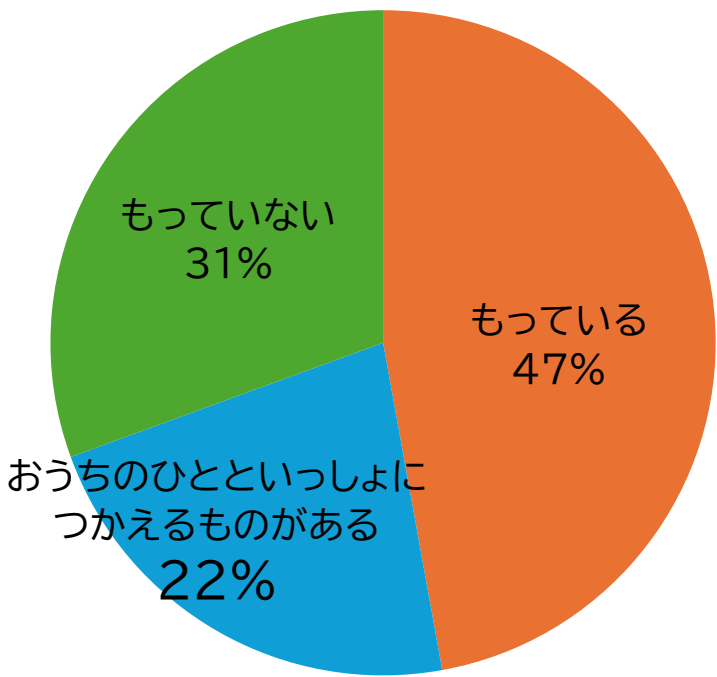
- 大切に扱うこと
- 健康のために時間を考えて使うこと
- 人の写真や動画は許可を得て撮影すること
- 人の作品を使う場合に著作権を考えること
- 人がいやな気持ちになる書き込みをしないこと
- 人のタブレット端末を勝手にさわらないこと

端末の取扱い（指導方法） ※複数回答可



Q. 学校のタブレット以外に、自分が使えるスマホやタブレットやパソコンなどを持っていますか

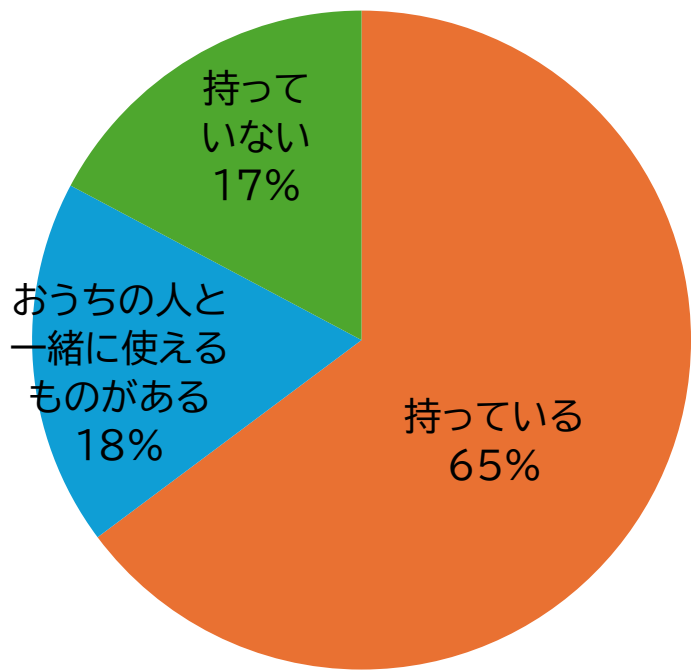
小学1~2年生 n=9,085



自分で使える端末がある

69%

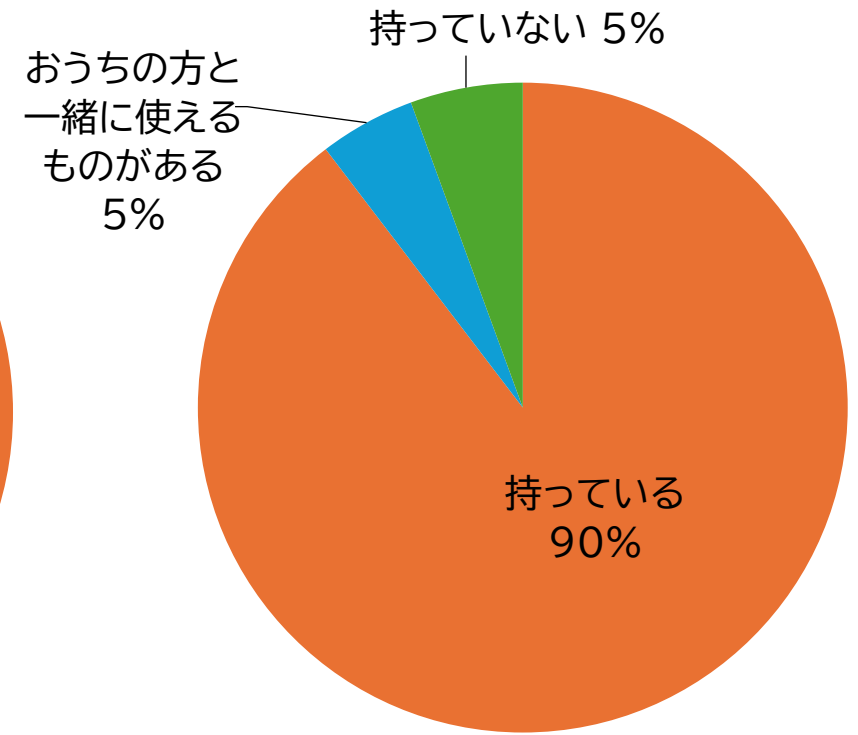
小学3~6年生 n=18,449



自分で使える端末がある

83%

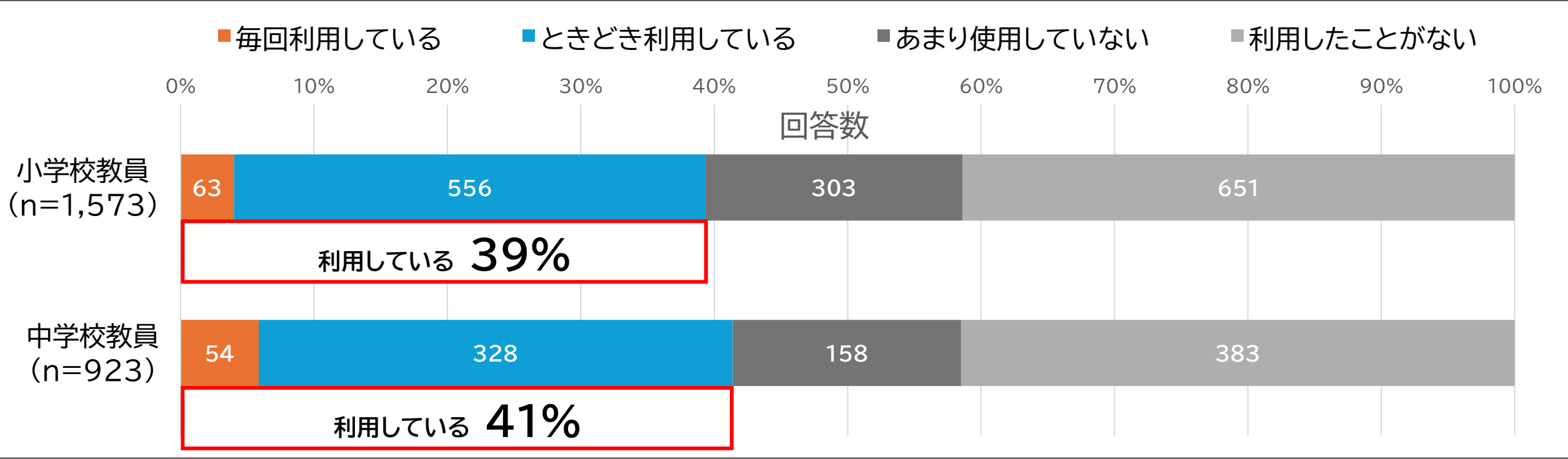
中学生 n=13,818



自分で使える端末がある

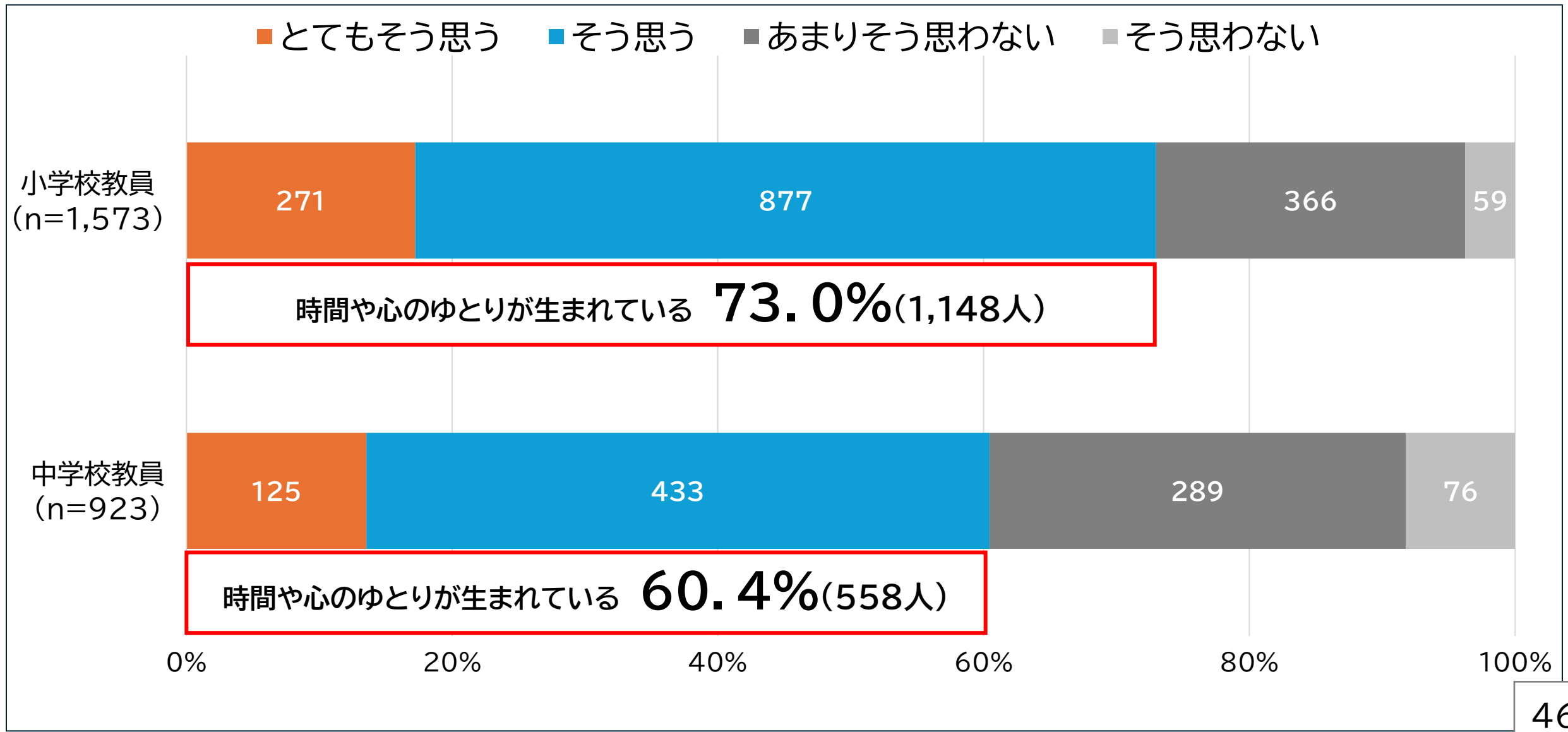
95%

Q.校務や教材研究等で生成AI(Copilot、Gemini等)を利用していますか



※複数回答可	小学校	中学校
時間短縮につながった	775(49.3%)	453(49.1%)
質の向上につながった	413(26.3%)	253(27.4%)
	1188(75.5%)	706(76.5%)

Q.ICT環境(タブレット端末や校務用PC)を利用することで、時間や心のゆとりが生まれましたか



第一回情報化検討委員会概要

1.開催日時

令和8年（2026年）3月24日（火） 14：30～16：30

2.会場

熊本市教育センター 大研修室

3.議事

①熊本市の現状 ②タブレット端末の活用状況に関する実態調査結果報告 ③自由討議（各委員より、自由討議）

自由討議：「学習面、生活面、健康面の3つの視点に加え、学年や発達段階による学習者用端末の活用に関して」

4.出席者

（1）委員

【学識経験者】前田康裕、飯村伊智郎、大塚芳生、本田藍、溝上広樹、赤井秀行、岩村純子

【保護者】中村理絵、村上弥生 【学校管理職】坂本多代 【中学校 教諭】堤大輔

【小学校 養護教諭】工藤あけみ

（2）事務局

教育長、教育センター（教育情報班、授業づくり支援班）、指導課、総合支援課、健康教育課、

